第７次江南市総合計画市民会議　議事要旨
（第２回 全体会議）

日　　時　　令和８年９月24日（木）　10:00～11:45
会　　場　　江南市役所　防災センター　救護室
出 席 者　　出席委員８名（１名欠席）
■委員

≪議長≫	菊池　知保	第３分科会（地域分野）会長
≪副議長≫	平野　敦也	第２分科会（共生分野）副会長
	岡崎　博幸	第１分科会（都市分野）会長
	松本　梨枝	第１分科会（都市分野）副会長
	田中　光晴	第２分科会（共生分野）会長
（欠席）	吉田　勝好	第３分科会（地域分野）副会長
	夫馬　靖幸	江南市総合計画策定部会（都市分野）部会長
	三輪　崇志	江南市総合計画策定部会（共生分野）部会長
	浅野　耕太郎	江南市総合計画策定部会（地域分野）部会長

■傍聴者　３名
■事務局　５名　　企画部長、企画課長、企画課副主幹、企画課職員２名

◆議題

基本構想（案）の検討事項について
その他

＜配付資料＞

基本構想（案）の検討事項について
参考資料１　第６次江南市総合計画（序論、基本構想）
参考資料２　第６次江南市総合計画達成状況【前期基本計画期間 平成30年度～令和５年度】

◆会議結果

１　開会

事務局より挨拶

２　議題

基本構想（案）の検討事項について

（事務局）　議題１の基本構想（案）の検討事項について説明いたします。

～資料の説明～

（事務局）　ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。
それでは、論点１から順にお願いします。

・論点１　今後予想される社会経済情勢のキーワードについて

（委　員）　市の財政状況はどうなっているか。また、財政の収支の視点はどのように考えたらいいか。

（事務局）　必要経費でひっ迫しており、硬直的な状況にある。総合計画策定においては、財政状況を踏まえる必要はあるが、会議では自由に意見を述べていただきたい。

（委　員）　画像生成によるいじめなどが問題となっているため、AI と子どもの付き合い方を考える必要がある。AI の使用に関する学習についての記述が必要ではないか。

（事務局）　ICT 教育の記載はあるが、更に深堀りし、AI・情報リテラシーなどを追加する。

（委　員）　賢い縮小（スマートシュリンク）は全国的な方向性になっている。全体的に連なるものとして、序論に表現を落とし込んで入れた方が良いのではないか。

（事務局）　キーワードへ追加する。

・論点２　目指す都市の将来像

（委　員）　江南市は魅力がないと言われるが、藤まつりや花火大会など、魅力的なイベントがあると思っている。他市町の方に更に来てもらえるよう、イベントに力を入れていくような将来像になると良い。

（委　員）　地盤が固いと聞いたことがある。災害に強いというのも、市の良さである。

（委　員）　名古屋に近い割に、比較的に家賃が低い点をアピールしたい。

（委　員）　先ほどのスマートシュリンクの意見に近いが、縮小前提にすべきである。民間企業においても、売上が上がらない前提で進めている。ものを出したら売れる時代ではないため、マーケティングを細かく決めている。SNS は、皆が利用しているが、皆が見ている画面が違うと言われている。どこで勝負をするのかが大事。財政においても、どこでリターンを取るかを考えるべきである。藤まつりは、昔よりも来場者が減っている。今は遊び方の選択肢が多く、マインドシェアに滑り込めなくなったと思われる。

（委　員）　江南市では何か情報発信のツールはあるのか。

（事務局）　LINE、Facebook、Ｘを運用している。

（委　員）　AI に関する教育を積極的に進めるべきと考える。

（委　員）　ありきたりな将来像ではなく、刺さるものが良い。どの年代の人が見てもわかりやすく、実効性が高いキャッチフレーズにしたい。

（委　員）　AI に関する小学校の教え方は、こわいもの、ダメなものとなっている。しかし、AI と共存する時代であるため、子どもたちに有益だということを伝えていきたい。
目指すキャッチフレーズについては、ターゲットを絞って、その人たちに向けたものを作成した方が刺さるのではないか。

・論点３　人口減少

（委　員）　弱いところに歯止めをかけるのではなく、強みを伸ばすのが基本である。

（委　員）　空き家の問題もある。これからの江南団地の利用状況は難しいと考えている。

（委　員）　持ち家の人は定住する印象がある。一方で、花火大会などは他市町からも来られる。定住してもらうにあたっては、イベントごとではなく、衣食住の面を考えるべきだ。ごみ問題については、面倒だとの意見を聞く。住みやすさに魅力あるまちにしたい。

（委　員）　市に住んでいなくても藤まつりや花火大会に参加できる。住んでもらうことを考えるべき。例えば市民文化会館では、市内と市外の人で利用料に差が無い。また、藤まつりや花火大会においても、市内の人に特典を付けるなど、メリットを作るのはどうか。

（委　員）　居住地が江南団地よりも駅に近いところにあると良い。

（事務局）　イベント、教育、子育てなどが、定住に繋がるように考えていきたい。

・論点４　土地利用

（委　員）　農地のなかに一軒だけ家が建っているエリアもある。

（事務局）　現時点においても市街化調整区域に家がかなり建っている状態である。

（委　員）　市街化区域を増やすことで家が建つのであれば、増やすのも手ではないか。

（委　員）　道路や下水道の整備が必要になるので、コストとの兼合いを考える必要がある。

（委　員）　ベッドタウンとして推していくのであれば、市街化区域を広げる選択肢はあると考える。

（委　員）　農地に家があるエリアが多く、活用が難しい現状にある。市街化調整区域で、既にDID 地区（人口集中地区）が広がっているようなエリアについては条例で指定して人が住めるようにすることは良いと考える。

（事務局）　人口減少社会であることと、市街化区域を広げることによるインフラの整備コストや維持コストが増加することを念頭に置く必要がある。

・論点５　江南市の地域課題

（委　員）　江南駅周辺の開発が必要ではないか。市民文化会館のようなイベントを開催できる施設は貴重なため、市民文化会館を含めた開発が必要。また、ゴミの分別が異常に細かい。高齢者が真夏や真冬に立ち当番をすることのリスクを、市は考えるべきだ。

（委　員）　江南駅については、他の駅との差別化をしないと選ばれない。駅の近くに住める場所があれば、名古屋に通勤する人に選ばれる。

（委　員）　ウィステリアプラザなど、新しい公共施設が建っている。古い施設より新しい施設になったほうが興味を持ってもらえる一方で、高齢者は、新しい施設へ交通手段が無くて行けない。施設に行くための公共交通機関がほしい。

（委　員）　集中豪雨がいつ発生するか分からないため、冠水するような道路は整備する必要がある。また、ゴミの問題は、早急に対応が必要だと考えている。

（委　員）　市街化区域にバスを走らせることによって、市街化区域の価値を上げ、居住地として誘導できないか。

（委　員）　土地利用については、民間と連携する必要があると考える。市には 10 万人近く住んでおり、存在する店を鑑みてもマーケティングとして対象となっていると伺える。民間と連携するには、民間にメリットが必要。テスラのサイバーキャブなどの最先端のものと連携すれば、大きな魅力となる。また、民間との連携に積極的だというアピールは良いと考える。

（委　員）　経済特区に手を挙げるのはどうか。市内は、道も迷いやすいので自動運転などの企業と手を組むことでいいデータがとれるのでは。

その他

委員に、会議の所感を伺いました。

市街化区域を住みやすくすること、居住地として選ばれるために衣食住の良さを高めること、市の良さを発信していくことが必要との意見がありました。

また、日本全体が衰退期の局面であることを踏まえ、今後の市の取捨選択の判断に寄与するような内容になることを目指したいとの意見がありました。

以上

第２回江南市総合計画市民会議（全体会議）次第

日時：令和８年９月２４日（木）午前１０時
場所：江南市役所　防災センター３階　救護室

１　開会

２　議題

　基本構想（案）の検討事項について

３　その他

基本構想（案）の検討事項について

第７次江南市総合計画は、より「自分ごと」と捉えやすい計画となるよう、市民視点に立った表現で、まちづくりの内容を分かりやすく体系的に整理するものとしていく。また、誰もが見やすく、素早く必要な情報が得られ、活かされる計画とするために、市の目指す方向性、施策の目標などを簡潔に記載しつつイラストや図表を活用したものとし、全体で 120 頁程度の計画書とする。

１　計画の構成

序論、基本構想、基本計画の３部構成とし、イメージは以下のとおりとする。

第７次江南市総合計画 120 頁（予定）	第６次江南市総合計画（H30.3） 172 頁
第Ⅰ部　序論　（12 頁） 第１章　計画の概要 １　計画策定の趣旨 ２　計画の役割 ３　計画の構成と運用 １　計画の構成 ２　計画の運用 第２章　計画策定の背景 １　社会経済情勢の変化への対応 ２　江南市の現状 １　位置・地形 ２　人口動向 ３　土地利用 ４　江南市の課題 ３　市民意識（新設） 第Ⅱ部　基本構想　（４頁） 第１章　江南市の将来像 １　めざす都市の将来像 ２　基本目標 ３　目標フレーム（人口、土地）	第Ⅰ部　序論　（６頁） 第１章　計画策定の趣旨 第２章　計画の枠組み １　位置付け ２　計画の構成 第３章　計画の運用 第Ⅱ部　基本構想　（22 頁） １　社会経済情勢の変化への対応 ２　江南市の概要 ３　江南市の将来像 ４　市民協働のあり方 ５　行政経営のあり方 ６　目標フレーム（人口、土地）

第７次江南市総合計画 120 頁（予定）	第６次江南市総合計画（H30.3） 172 頁
第Ⅲ部　基本計画　（84 頁） 第１章　基本計画の考え方 第２章　基本計画の体系 第３章　分野別計画 第４章　地域強靭化計画（新設） 巻末資料　（20 頁）	第Ⅲ部　基本計画　（120 頁） 第１章　基本計画の考え方 第２章　基本計画の体系 第３章　分野別計画 巻末資料　（24 頁）

※ 第６次江南市総合計画では、下線部は基本構想に、二重下線部は巻末資料に含まれていた。

※ 地域強靭化計画は、これまで個別で策定したものを総合計画へ統合するもの。

☞　第６次江南市総合計画の序論及び基本構想は参考資料１を参照

２　序論、基本構想の概要

11 月に予定している江南市総合計画審議会へ諮問する内容としては、第６次江南市総合計画の策定時と同様に、序論、基本構想とし、内容については各会議体において詳細を詰めていくものとする。

➢　序論、基本構想（案）策定のために議論いただきたいこと

論点１　今後予想される社会経済情勢のキーワード

全国的な潮流として将来にわたり重要視されるもので、特に江南市においてもその潮流を踏まえた取り組みが必要になると考えられるものを検討する。

（１）人口・社会構造に関するもの

- 人口減少
- 少子高齢化
- こどもまんなか社会
- 二地域居住
- 社会的包摂
- 関係人口
- 交流人口
- 地方への人の流れ
- 多様性

（２）経済、産業に関するもの

- 地方創生
- 起業、創業
- インバウンド
- 地域経済循環
- スタートアップ
- 人手不足
- リニアインパクト

（３）デジタル活用、行政経営に関するもの

・ＤＸ　　・ＡＸ（ＡＩトランスフォーメーション）

・ビッグデータ　　・ＥＢＰＭ

・官（公）民連携

（４）環境、脱炭素に関するもの

・ＧＸ　　・カーボンニュートラル

・脱炭素社会　　・サーキュラーエコノミー

・ＳＤＧｓ

（５）防災、安心安全に関するもの

・気候変動　　・激甚災害

・国土（地域）強靭化　　・自助、共助、公助

（６）教育、人材育成に関するもの

・ＩＣＴ教育　　・グローバル人材

・キャリア教育　　・アントレプレナー教育

（７）地域コミュニティ、協働に関する者もの

・共創　　・協働、市民参加

・シビックプライド　　・多文化共生

・ウェルビーイング

論点２　めざす都市の将来像

第６次江南市総合計画では、「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」を将来像に掲げ、各分野にバランスよく事業を展開してきた。近年では特定の層や分野をターゲットに自治体の特色を打ち出してブランディングを図る事例も見受けられることから、将来像を考えるにあたりどのような方向性をもって進めるかを検討する。

（参考）第６次江南市総合計画から抜粋

以上から、江南市ではすべての人がゆとりと生きがいをもって暮らせる、生活の場としての魅力あるまちづくりをめざして、平成39年度までにめざす都市のすがたを次のように定めます。

地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市
～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～

◆生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。

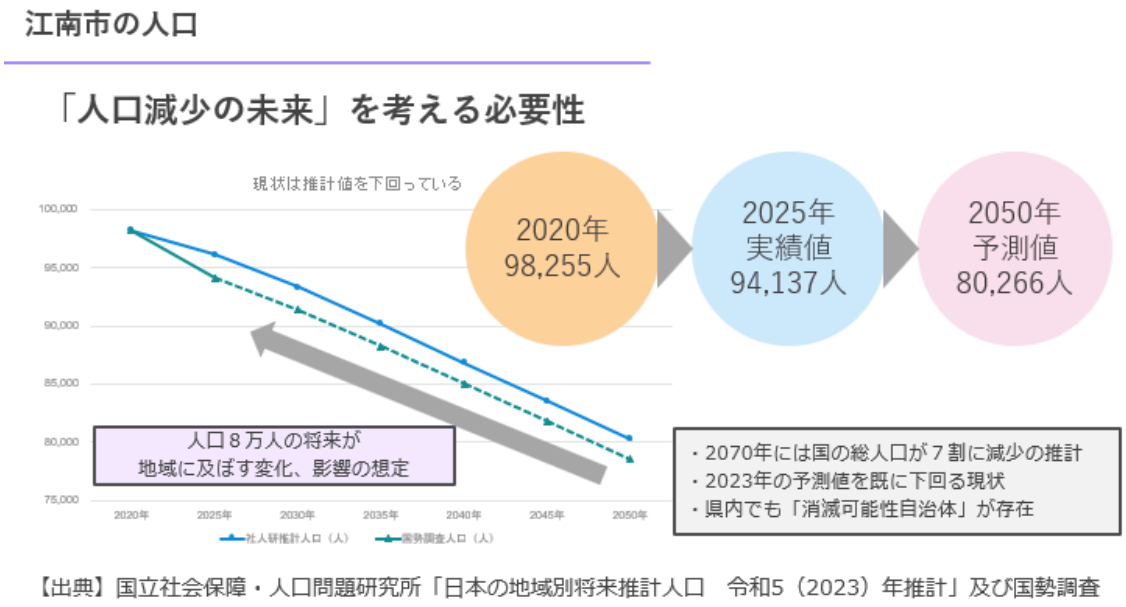


論点３　人口動向

８月３日に開催した市民会議のキックオフでは、2025 年に行われた国勢調査による人口の速報値が、市の予測値を既に下回っていることを紹介した。全国的にも人口が減少し、既に「未来の親」が減少している状況を急激に改善することは難しい中、移住・定住策の促進、関係人口の構築などにより人口減少に歯止めをかけようとする取り組みは複数存在する。

人口減少下においても持続可能なまちづくりを基調としながら、その影響を緩和させる方策について検討する。

（参考）令和８年８月３日開催　市民会議資料から抜粋



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口　令和5（2023）年推計」及び国勢調査

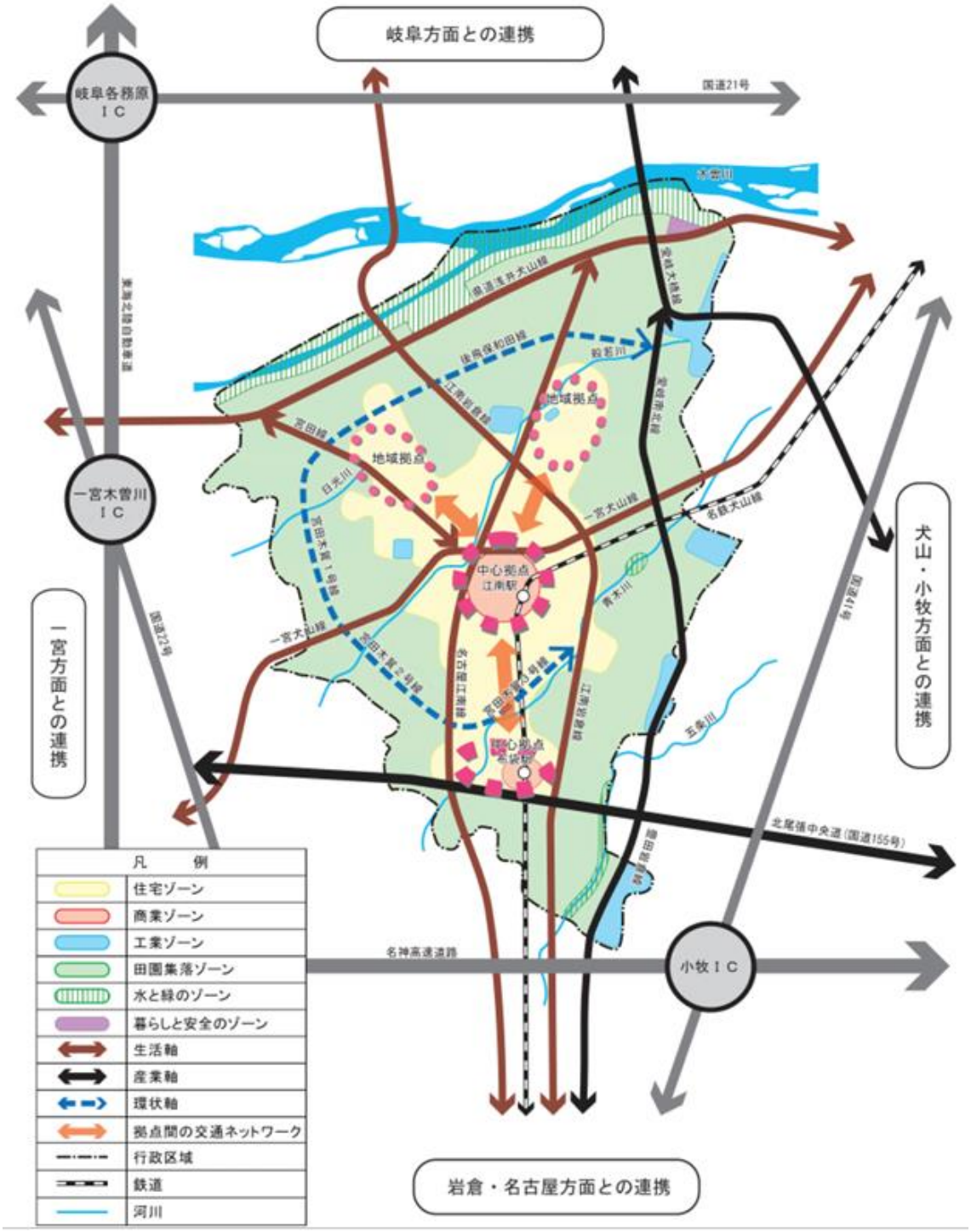
論点４　土地利用

現在、江南市の土地利用は「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」にふさわしい、健全な都市環境の形成と都市機能の集積を実現するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づいて、市域を６つの土地利用ゾーンに区分するとともに、江南市の骨格となり将来、発展の核となる拠点と都市軸を設定している。

今後も、住みやすく、利便性の高いコンパクトなまちづくりを進めていくうえでの土地利用のあり方を検討する。

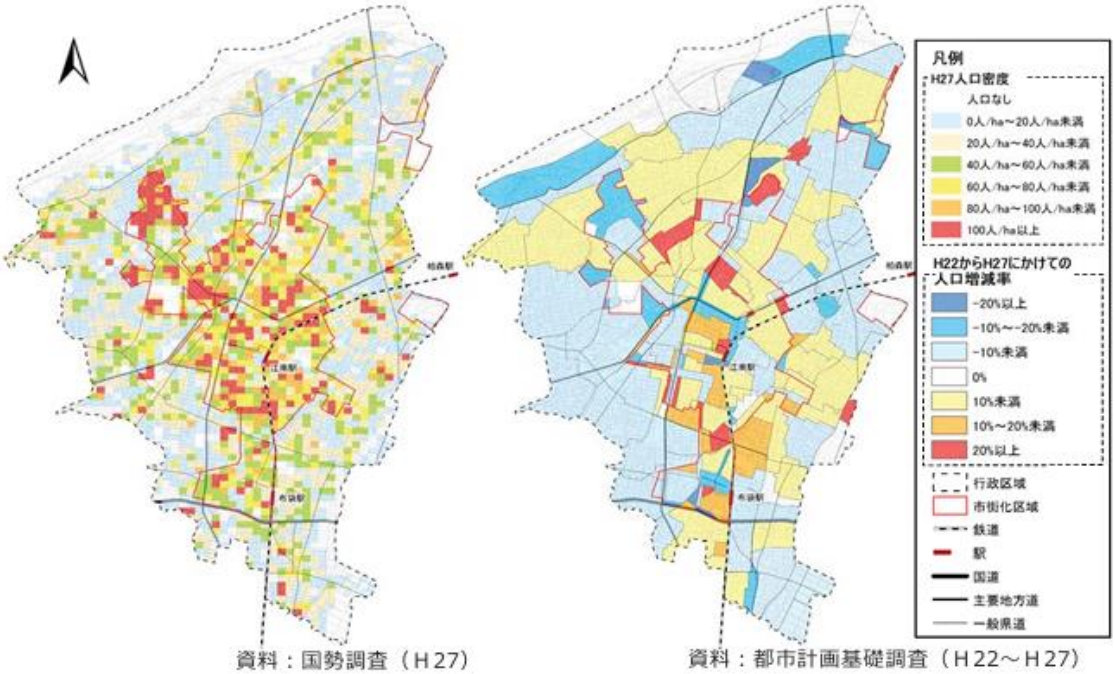
（参考）第６次江南市総合計画から抜粋

【土地利用構想図】



（参考）江南市都市計画マスタープランから抜粋

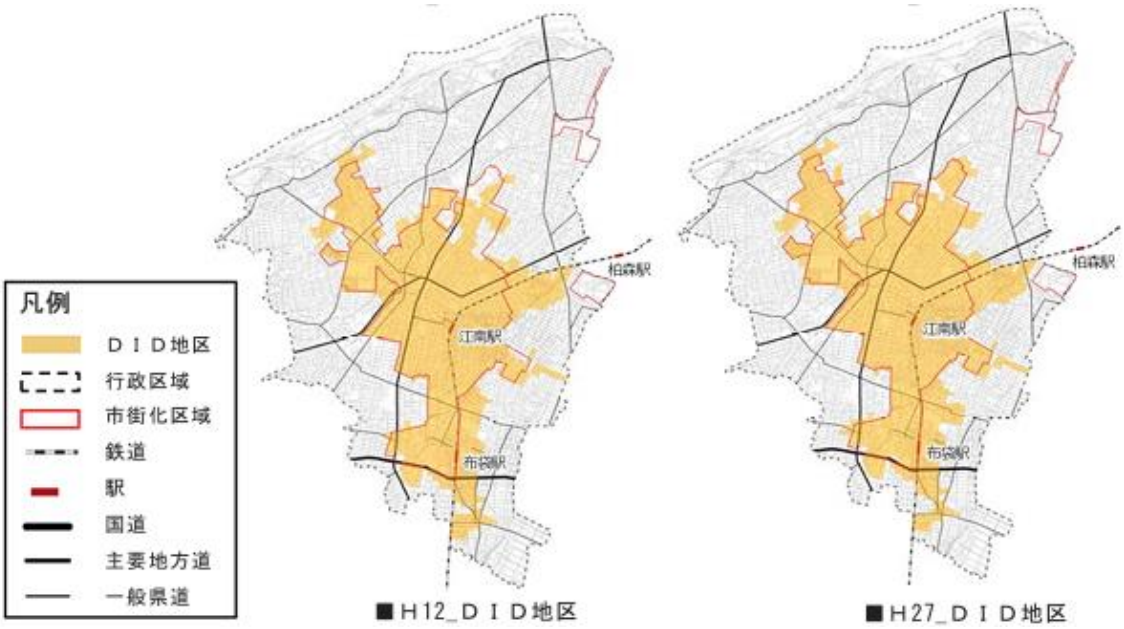
・人口密度、人口増減率



資料：国勢調査（H27）　資料：都市計画基礎調査（H22～H27）

■H27の人口密度の状況図　■人口増減率（H22～H27）の状況図

・人口集中地区（ＤＩＤ）の状況



■H12_ＤＩＤ地区　■H27_ＤＩＤ地区

論点５　江南市の地域課題

論点１では、概ね全国的に共通する社会経済情勢から、江南市に共通して影響し得る内容について検討を行ったが、ここでは、愛知県、江南市といった地域固有の課題について、基本計画の分野別の枠組みや今後議論していく基本構想の方向性を意識しながら、各分野の満足度及び重要度に関する市民意向や現行の総合計画の達成状況も踏まえながら検討を行う。

☞　第６次江南市総合計画の達成状況（中間評価）の概要は参考資料２参照

（参考）次期総合計画における分野の枠組み（案）

基本計画		
分野		柱
Ⅰ	都市	環境
		都市整備
		上下水道
		商工観光
		農業
Ⅱ	共生	教育
		生涯学習
		子育て
		福祉
		健康
Ⅲ	地域	防災・交通安全・地域防犯
		消防・救急
		市民生活
		行財政
		議会

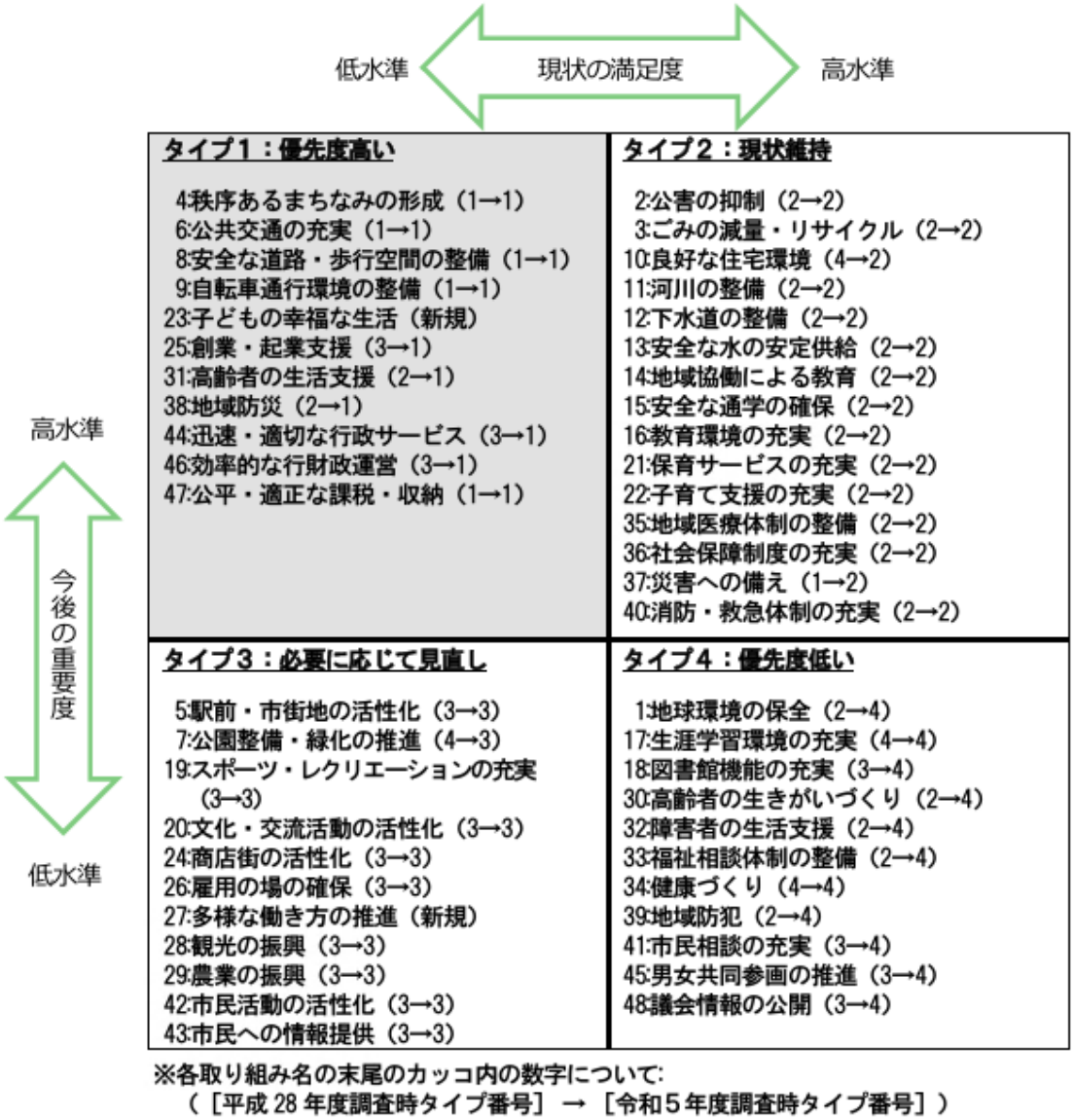
（参考）第６次江南市総合計画後期基本計画策定時の市民意向調査結果

下図は令和５年度に実施した調査結果。令和８年７月に行った市民意向調査において同様の調査を行っているため、その結果の集計及び過去の市民意向との比較などを行い、今後の会議資料として提示する。

● 江南市の取り組みに対する現状の満足度・今後の重要度の分析

「第６次江南市総合計画」策定のために実施した平成 28 年度の市民意向調査と令和５年度に実施した市民満足度調査について、48 の取り組みにおける「満足度」、「重要度」を比較しました。「満足度」は、半数近くの項目で下降した一方、「重要度」については多くの項目が上昇しました。満足度が下降した結果、相対的に重要度が上がったと考えられます。

下図は、各取り組みを満足度・重要度の平均値から４つに分類したものです。



タイプ１：優先度高い	タイプ２：現状維持
4:秩序あるまちなみの形成（1→1） 6:公共交通の充実（1→1） 8:安全な道路・歩行空間の整備（1→1） 9:自転車通行環境の整備（1→1） 23:子どもの幸福な生活（新規） 25:創業・起業支援（3→1） 31:高齢者の生活支援（2→1） 38:地域防災（2→1） 44:迅速・適切な行政サービス（3→1） 46:効率的な行財政運営（3→1） 47:公平・適正な課税・収納（1→1）	2:公害の抑制（2→2） 3:ごみの減量・リサイクル（2→2） 10:良好な住宅環境（4→2） 11:河川の整備（2→2） 12:下水道の整備（2→2） 13:安全な水の安定供給（2→2） 14:地域協働による教育（2→2） 15:安全な通学の確保（2→2） 16:教育環境の充実（2→2） 21:保育サービスの充実（2→2） 22:子育て支援の充実（2→2） 35:地域医療体制の整備（2→2） 36:社会保障制度の充実（2→2） 37:災害への備え（1→2） 40:消防・救急体制の充実（2→2）
タイプ３：必要に応じて見直し	**タイプ４：優先度低い**
5:駅前・市街地の活性化（3→3） 7:公園整備・緑化の推進（4→3） 19:スポーツ・レクリエーションの充実（3→3） 20:文化・交流活動の活性化（3→3） 24:商店街の活性化（3→3） 26:雇用の場の確保（3→3） 27:多様な働き方の推進（新規） 28:観光の振興（3→3） 29:農業の振興（3→3） 42:市民活動の活性化（3→3） 43:市民への情報提供（3→3）	1:地球環境の保全（2→4） 17:生涯学習環境の充実（4→4） 18:図書館機能の充実（3→4） 30:高齢者の生きがいづくり（2→4） 32:障害者の生活支援（2→4） 33:福祉相談体制の整備（2→4） 34:健康づくり（4→4） 39:地域防犯（2→4） 41:市民相談の充実（3→4） 45:男女共同参画の推進（3→4） 48:議会情報の公開（3→4）

※各取り組み名の末尾のカッコ内の数字について:
（［平成 28 年度調査時タイプ番号］ → ［令和５年度調査時タイプ番号］）

【参考資料１】

目　次

CONTENTS

第Ⅰ部　序論 1

第１章　計画策定の趣旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
第１節　背景 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
第２節　意義 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
第２章　計画の枠組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第１節　位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第２節　計画の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第３節　計画の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1　明確性・実行性・共有性の高い計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2　市民参加により策定される計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第３章　計画の運用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第１節　運用の考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第２節　進行管理の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第Ⅱ部　基本構想 7

第１章　社会経済情勢の変化への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
第１節　人口減少・少子化の進展 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
第２節　超高齢社会への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
第３節　持続可能な都市構造への転換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
第４節　安心・安全な生活へのニーズの高まり ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
第５節　多様な価値を創造する地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第６節　ＩＣＴ技術の進展 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第７節　市民参加・官民連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
第２章　江南市の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
第１節　江南市の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
第２節　市民意識 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
第３節　江南市の課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
第３章　江南市の将来像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
第１節　めざす都市の将来像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
第２節　基本目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
第４章　市民協働のあり方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
第１節　市民協働の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
第２節　協働の基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
第５章　行政経営のあり方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
第１節　行政経営の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
第６章　目標フレーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
第１節　人口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
第２節　土地利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第Ⅲ部　基本計画　29

第１章　基本計画の考え方　31
第１節　基本計画の概要　31
第２節　目標フレーム　32
第３節　市長の戦略政策の考え方　38
第４節　分野別計画の考え方　38
第２章　基本計画の体系　39
第１節　基本計画の構成　39
第２節　基本計画の成果体系　40
第３章　市長の戦略政策　42
第１節　市長の戦略政策のビジョン　42
第２節　市長の戦略政策　43
政策１　多彩な魅力・多様な暮らしを選べるまちの実現　44
政策２　子育て世代・子どもの将来が輝くまちの実現　46
政策３　地域とつくる安心安全・健康長寿のまちの実現　48
政策４　透明性・柔軟性の高い行政の実現　50
第４章　分野別計画　52
Ⅰ　まちづくり分野　53
Ⅱ　ひとづくり分野　79
Ⅲ　しごとづくり分野　97
Ⅳ　ちいきづくり分野　105
Ⅴ　行政分野　127

巻末資料　149

１．成果目標一覧　150
２．策定体制・策定経過　159
３．江南市総合計画審議会　162
４．江南市総合計画市民会議　165
５．江南市総合計画策定会議　167
６．市民意向調査・市民満足度調査・パブリックコメント・住民説明会　170
７．若い世代の計画策定への参加　172

第Ⅰ部

序　論

第１章　計画策定の趣旨
第２章　計画の枠組み
第３章　計画の運用

第１章　計画策定の趣旨

第１節　背景

江南市では、平成20年３月に平成29年度を目標年度とする第５次総合計画としての位置づけをもつ「江南市戦略計画」（以下、「戦略計画」という。）を策定し、「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現に向けて、まちづくりを進めてきました。

この間、少子高齢化を始めとする人口減少社会への転換が現実的なものとなり、地域の人口減少や人口構造の変化に伴い、地域経済の低迷や財政状況への影響など新たな懸念が生じています。さらに、平成23年に発生した東日本大震災や各地で発生する自然災害への対応も重要な課題となっており、まちづくりを取り巻く状況に厳しさと即応性が求められています。

さらに、人口減少社会に対応するために、本格的な取り組みが地方創生[注1]という形で国を挙げて始まっており、江南市でも平成27年度に「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）を策定し、人口減少社会への対応を進めているところです。

一方、平成23年の地方自治法の改正により、市町村における基本構想策定の義務づけが廃止されました。しかし、市民と行政とのパートナーシップによるまちづくり[注2]を前提に、市民参加を着実に推進するために、市町村が取り組むまちづくりの指針を示し、市民と共有することが重要です。そのため、改めて総合計画の位置づけを見直し、市町村が自らの責任と判断の下に、真に必要かつ有効な総合計画の策定とその運用の仕組みを確立し、これを市民にわかりやすく示すことが必要となっています。

このような状況を受け、江南市の総合計画は、法的義務づけによる計画から市民本位の計画へ転換し、江南市の自主的な取り組みとしての総合計画に生まれ変わることが求められます。そのために、江南市がめざす将来像の実現に向けて、平成30年度からの市民と行政がともに取り組むための具体策を示した新たな総合計画として「第６次江南市総合計画」（以下、「第６次総合計画」という。）を策定するものです。

第２節　意義

超高齢社会[注3]の急速な進展が見込まれる中、地域構造や市民ニーズが大きく変化することが予想され、「第６次総合計画」においては、将来的な人口減少の影響を最小限に抑えつつ、市民が住み続けられる江南市として選ばれ続けるための施策展開が必要であり、「総合戦略」における人口減少抑制策の着実な実施とあわせて、社会情勢の変化に対応した、柔軟な施策の展開を図れる計画とすることが必要です。

また、人口減少に対応して、各地域の実情に即した適切な土地利用の展開を図りつつ、市民ニーズや財政状況に応じた市民サービスを的確に提供するために、あるべき地域構造を踏まえることが必要であり、都市機能の集約化や利便性を確保するための交通ネットワークの確保が必要です。

注１　地方創生：東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策。平成 26 年９月３日の第２次安倍改造内閣発足時の総理大臣記者会見で発表された。
注２　市民と行政とのパートナーシップによるまちづくり：市民・行政・企業・ＮＰＯなどが協働・連携してまちづくりに取り組むこと。
注３　超高齢社会：高齢化率（65 歳以上人口が総人口に占める割合）が 21%を超えた社会。高齢化率が 7%を超え 14%までを"高齢化社会"、14%を超え 21%までを"高齢社会"という。

一方、行政運営におけるマネジメントの考え方の導入は重要であり、今後も行政経営による的確な施策実施をめざした、効率的・効果的な施策展開を実現することが必要です。

以上から、「第６次総合計画」は、人口減少社会を前提とし、「総合戦略」における人口減少抑制策の実施を基本に、戦略的な施策実施により地域の魅力向上を図り、江南市が持続的に発展していくための地域社会の実現を、市民と行政が協働でめざすための計画とします。

第２章　計画の枠組み

第１節　位置づけ

「第６次総合計画」は、江南市の将来像を実現するための、市民と行政の“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”として、市の最上位計画に位置づけられます。

また、「基本構想」は、市民と行政がともにめざすまちづくりの根幹となる構想である市民計画として位置づけ、「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」[注4]に策定根拠を定義づけています。

第２節　計画の構成

計画の構成は、基本構想、基本計画、実施計画の３層構造とします。

「基本構想」は、江南市がめざす姿を明示し、市民と行政が共有してまちづくりに取り組んでいくための基本的な考え方・目標を示した市民計画として位置づけるものです。

「基本計画」は、「基本構想」の実現に向けて、具体的な施策や事業を展開するための計画であり、行政の各組織が取り組むべき施策を示した分野別計画で、行政計画として位置づけるものです。また、分野別計画の中から市長が強く推進する取り組みを集約して表記した「市長の戦略政策」も基本計画に含みます。

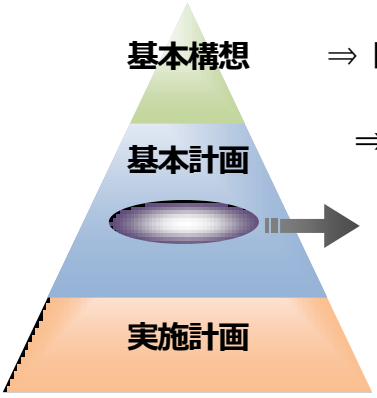
特に、分野別計画については、「市長の戦略政策」との対応関係を明確にするとともに、市民意向調査などにより市民が考える重要度、施策に対する達成度や満足度から、施策の優先度を客観的に表示し、施策の選択と集中を図るものとします。

「実施計画」は、「基本計画」における政策（施策）を実現するための各種事業の実施計画であり、各分野別計画で立てた成果目標の実現に向けた行政計画として位置づけるものです。

「第６次総合計画」の計画期間は、「基本構想」を平成30年度～平成39年度の10年間、「基本計画」を前期６年・後期４年とし、基本的に市長改選年度に基本計画の改訂を行うこととします。「実施計画」は、３年間の計画とした上で、計画マネジメントの観点から、見直しなどへの迅速な対応を想定し、毎年、次年度以降の３年間を計画することとします。

注４　江南市市民自治によるまちづくり基本条例：江南市におけるまちづくりの基本理念や、まちづくりの担い手の権利・責務や役割など、さらには市政運営の仕組みなどを定めた条例であり、平成 23 年４月１日に施行。

【構成のイメージ図】



基本構想　⇒**【理念】**
市民と行政がともにめざす市の姿　〔市民計画〕※議決必要
⇒**【政策】分野別計画**
各組織が取り組むべき施策　〔行政計画〕
【政策】市長の戦略政策（⇒市長が強く推進する取り組み）
市民の信任を得た市長の公約に関する施策　〔行政計画〕
⇒**【事業】**
政策（施策）を実現するための具体的な事業　〔行政計画〕

【期間のイメージ図】　改･･･基本計画改訂年度

年　度		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
市長任期		←				→				←				→	
戦略計画		⇢			⇢										
第６次総合計画	基本構想														
	基本計画									改					
	実施計画														
まち･ひと･しごと創生総合戦略		←				→									

毎年ローリング

第３節　計画の特徴

１　明確性・実行性・共有性の高い計画

「第６次総合計画」では人口減少社会を前提としていることから、平成27年度に策定した「総合戦略」の考え方を基調とし、各分野で人口減少社会に対応したまちづくり、地域社会づくりをめざす計画とします。

また、「分野横断による施策の効率的、総合的な推進」を目的とし、市民に対してわかりやすく身近な計画とするために、①明確性、②実行性、③共有性を高めた計画となるよう、以下の特徴をもたせた計画とします。

人口減少社会を前提とした総合計画

●行政サービスの機能性を高めるまちづくり（効率化、集約化など）
●市民との役割分担による地域社会づくり（協働、連携、事業支援など）

①明確性　・市長の戦略政策の明記　・施策の優先度の明記

②実行性　・数値目標による計画の進行管理

③共有性　・分野横断による政策対応　・市民協働（参加）型事業の明記

２　市民参加により策定される計画

地方自治法の改正により基本構想の策定の義務づけはなくなりましたが、市の将来のまちづくりについて、市民本位の計画とし、行政運営自体が恣意的で計画性のないものとならないように、多様な手法により市民参加を図り策定することが必要です。

また、市民参加による策定過程において、市民と行政それぞれの役割を認識し、行政として取り組むべき施策・事業を整理し、広く市民にわかりやすい計画として示していくことが必要です。

そのため、以下に示す計画策定段階における市民参加を通じて、様々な市民の意見を反映し、市民が自らの役割を認識し、行政と共有し合える計画とします。

◆「第６次総合計画」策定の際の市民参加手法◆

①審議会の設置（有識者などによる諮問・答申）
②市民会議の設置（公募市民と市職員による協働）
③意向把握の実施（一般市民、若い世代など）
④住民説明会の開催
⑤パブリックコメント[注1]の実施

第３章　計画の運用

第１節　運用の考え方

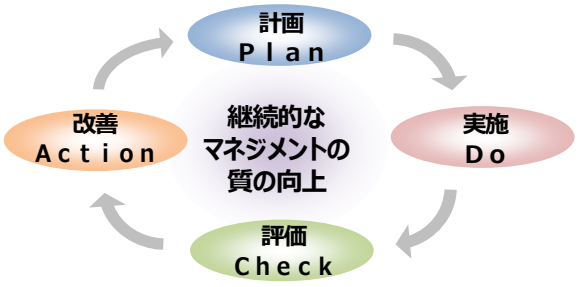
「戦略計画」から導入した行政マネジメントの手法は、一定の成果があり、施策などの進捗管理の上でも、今後も継続していくことが必要です。

「第６次総合計画」ではマネジメントの効率化を図り、評価対象事業は、政策（施策）の目標に対して関連性が強く、実施効果の高い重要な事業を重点的に管理します。また、結果としての数値管理だけでなく、取り組み状況が市民にわかりやすい計画とすることをめざします。

第２節　進行管理の方法

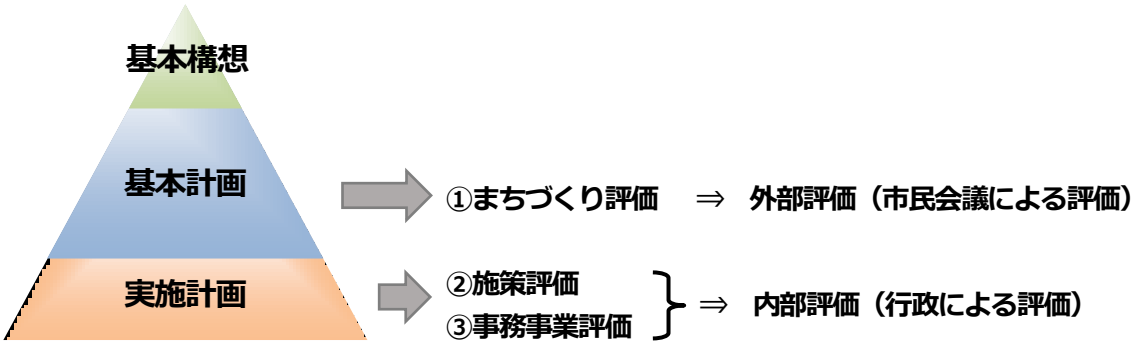
「第６次総合計画」の進行管理は、ＰＤＣＡサイクル[注2]に沿って、定期的な「成果測定（評価）」と継続的な「改善」を通じて実施します。

【ＰＤＣＡサイクルのイメージ】



注１　パブリックコメント：市が計画や条例などを策定したり変更したりするときに、その内容を案の段階で公表し、案に対する意見や提案、要望を広く市民の皆さんから募集する手続きのこと。
注２　ＰＤＣＡサイクル：計画を立て［Ｐｌａｎ］、それを実施し［Ｄｏ］、その成果を測定（評価）して［Ｃｈｅｃｋ］、その結果を踏まえて改善活動を行う［Ａｃｔｉｏｎ］、組織運営や業務遂行の一連の流れの繰り返しにより、継続的にマネジメントの質を高めることをめざすもの。

進行管理における行政評価[注1]は、次の３つの階層において、実施します。



①まちづくり評価【市民と行政が推進するまちづくりの進行管理】

まちづくりの進行管理は、「第６次総合計画」の「基本計画」に掲げた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、成果の発現状況を確認し、今後の改善方策を検討します。

「基本計画」の成果目標は、行政計画としての目標ですが、市民計画である「基本構想」の実現に向けたプロセスであることから、市民会議を設置し、分野別計画の優先度に応じた検討と達成状況の確認を行い、その結果について、必要に応じて意見書を提示します。意見書対応については、短期的には「実施計画」への反映、中期的には次期の「基本計画」の見直しへと反映させます。また、進行管理の結果については、広く地域の構成員が共有できるよう、報告書として取りまとめます。

②施策評価【行政が推進する施策の進行管理】

行政が推進する施策の進行管理は、「第６次総合計画」の各施策の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、取り組み状況を確認し、今後の改善方策を検討します。

各施策の推進責任を負う行政の各組織（部と課）が、責任をもって取り組み状況と目標達成状況を確認し、その結果については、短期的には次年度の組織運営や施策展開、「実施計画」への反映、中期的には次期の「基本計画」の見直しへと反映させます。また、進行管理の結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く公表していきます。

③事務事業評価【行政が実施する事務事業の進行管理】

行政が実施する事務事業の進行管理は、「第６次総合計画」の政策（施策）の目標に対して関連性が強く、実施効果の高い重要な事業について、その取り組み状況を明らかにすることにより、今後の改善方策を検討します。

各事務事業の推進責任を負う行政の各組織が、責任をもって取り組み状況と目標達成状況を確認し、その結果については、短期的には次年度の事業展開や予算編成へ、中期的には次期の「基本計画」の見直しへと反映させます。また、進行管理の結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く公表していきます。

注１　行政評価：市で実施している施策や事務事業について、その成果目標の達成状況を把握し、業務の改善、今後の施策の展開に向けての意思決定に活かすもの。

第Ⅱ部

基本構想

第１章　社会経済情勢の変化への対応
第２章　江南市の概要
第３章　江南市の将来像
第４章　市民協働のあり方
第５章　行政経営のあり方
第６章　目標フレーム

第１章　社会経済情勢の変化への対応

第１節　人口減少・少子化の進展

◆社会潮流の変化

わが国の人口は平成20年をピークに減少局面に入り、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、平成72年には人口が約8,700万人になると推計されています。

こうした急激な人口減少により、日常の買い物や医療などの地域の生活に不可欠なサービスの維持が困難となることが懸念され、特に地方都市の魅力の減退により若者の流出を招くおそれがあります。

一方、人口減少に歯止めをかけるためには、合計特殊出生率[注1]の回復が急務ですが、長期的にわが国の人口を一定水準に保つためには、女性が働きやすく、子どもを産み育てやすい環境を整備することなど、大都市、地方を通じ少子化対策を推進していくとともに、地方部から東京圏への人口流出に歯止めをかけることが必要です。

人口減少抑制策としては、平成26年度に国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、出産・子育てや地方人口確保のための重点政策を示すとともに、各自治体においても「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、重点的な取り組みを進めつつあります。

◆江南市の状況

江南市においても、「総合戦略」策定時の「江南市人口ビジョン」（以下、「人口ビジョン」[注2]という。）において、平成72年における人口展望として平成27年比で約17,500人（平成27年人口の約18%）の人口減少を見込んでおり、特に合計特殊出生率の低さや市外への転出者の増加傾向などを改善し、人口減少を食い止めることが求められています。

また、将来的な人口減少は避けられないため、定住できる地域づくりや出産・子育てしやすい環境整備などを重点的に推進するとともに、人口減少に対応した地域コミュニティの形成を市民とともに進めていくことが求められています。

第２節　超高齢社会への対応

◆社会潮流の変化

わが国の高齢化率[注3]は上昇を続けており、平成27年には26.7%となり、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会[注4]が到来しており、平成72年には高齢化率は約40%に達すると推計されており、超高齢社会に対応した国土・地域づくりが急務です。

今後、高齢化率はすべての都道府県で上昇が見込まれ、三大都市圏を中心に高齢者数の増加が継続し、高齢者福祉・介護施設の不足が生じる可能性があります。

注１　合計特殊出生率：「15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標」で、一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを産むかを表す。
注２　人口ビジョン：平成 28 年３月策定の「江南市人口ビジョン」のことであり、人口減少やそれに伴う経済縮小の克服に向けて、人口の現状分析や将来人口推計などをもとに、今後のめざすべき将来の方向と人口の将来展望を示したもの。
注３　高齢化率：総人口に占める 65 歳以上人口の割合。
注４　超高齢社会：高齢化率（65 歳以上人口が総人口に占める割合）が 21%を超えた社会。高齢化率が 7%を超え 14%までを“高齢化社会”、14%を超え 21%までを“高齢社会”という。

一方で、健康寿命[注5]の延伸を背景に、元気に活躍する場を求める高齢者が増大しています。働けるうちはいつまでも働きたいという高齢者も多く、生産年齢人口が減少する中で、高齢者の活用が重要な課題です。

◆江南市の状況

江南市においても、高齢化の進展は深刻で、平成27年の高齢化率は26.6%となり、超高齢社会に突入しています。家庭機能の低下や地域社会のつながりの希薄化などを背景に、高齢者の社会的孤立などの課題が表面化してきており、地域共生社会[注6]の理念に基づいた、将来の地域コミュニティの維持や持続的なまちづくりを推進するための方策を講じることが求められています。

また、増加する高齢者に対応して、健康寿命の延伸や元気な高齢者が地域で活躍できる仕組みづくりを進めるとともに、生涯住み続けられる地域として高齢者を支える仕組みづくりを含めて、地域が一丸となって取り組むことが求められています。

第３節　持続可能な都市構造への転換

◆社会潮流の変化

人口減少や少子高齢化の視点、厳しい財政状況、エネルギー・環境などの様々な制約に直面する中で、国民の安心・安全を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくためには、限られた資源を活用した持続可能な都市構造への転換が求められます。

人口減少が進む地域においては、各種機能を一定のエリアに集約し、行政や医療・福祉・商業等、生活に必要な各種のサービスを維持し、効率的に提供していくこととあわせて、各地域・拠点間を結ぶ公共交通のネットワークの構築により、機能維持のために必要な人口の確保を図ることが可能となります。

「コンパクト・プラス・ネットワーク」[注7]の推進により、都市機能を適切に配置し、サービスを享受する国民を適切に誘導するための、集約型都市構造への転換が必要となります。

一方、高度経済成長期を中心に整備されてきた公共施設などについて、自治体の厳しい財政状況を背景に、今後、人口減少を見据えて、実情と将来見通しに基づく、再編・統廃合などの方針を立てて対応することが求められています。

既存ストックを活かしたまちづくりの展開や民間資金・ノウハウの活用などを含めた、多様で現実的な対応を図ることが必要です。

注５　健康寿命：平均寿命のうち、健康で活動的に暮らせる期間。WHO（World Health Organization、世界保健機関）が平成 12 年にこの概念を提唱した。

注６　地域共生社会：制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

注７　コンパクト・プラス・ネットワーク：国土交通省が提唱している政策であり、人口減少や高齢化が進む中にあっても、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活サービス機能を確保し、住民が安心して暮らせる、持続可能な都市経営を実現できるよう、関係施策間で連携しながら、都市のコンパクト化と拠点間の交通ネットワーク形成をすること。「国土のグランドデザイン２０５０」では、基本戦略の一つとして「コンパクト+ネットワーク」と示されている。

◆江南市の状況

江南市においても、将来の人口減少社会を踏まえた、必要な都市機能の集約化を図るとともに、居住エリアの適切な誘導や生活利便性の向上をめざした公共交通のネットワーク化を図ることが必要と考えます。それらの実現により、江南市の生活都市としての魅力向上につながり、選ばれ、住み続けられるまちとして認められることが期待できます。

また、市民が利用する公共施設などについても、施設の利用実態や市民ニーズなどの状況も考慮しながら、適切な更新対応を図ることが求められています。

第４節　安心・安全な生活へのニーズの高まり

◆社会潮流の変化

地震多発国であるわが国において、甚大な被害が生じた東日本大震災や熊本地震の発生などにより、その影響は被災地域のみならず多方面に及びました。首都直下地震、南海トラフ巨大地震の発生も懸念されており、仮に発生した場合には多数の死傷者や経済的損失など、甚大な被害をもたらすと予測されています。

ひとたび巨大災害が発生すれば国内外への多大な影響が懸念され、国土レベルでの対応が課題です。東日本大震災の教訓を踏まえ、ハード・ソフトの様々な対策を組み合わせて、災害時の被害を最小化する「減災」に取り組んでいくことが求められます。

また、１時間に100mm以上の豪雨の増加など近年の気候変動は、風水害・土砂災害の激甚化をもたらしている可能性があり、今後、地球温暖化に伴い、これらの災害リスクがさらに増大するおそれがあります。

◆江南市の状況

江南市においては、愛知県防災会議が平成26年５月に発表した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」の過去地震最大モデルによる想定において“震度５強”となっています。また、浸水・津波による被害はほぼなく、地震の揺れなどによる建物被害においても極めて小さい予測となっており、人的被害においては県内の市町村で最も小さい予測となっています。

一方、大雨時には、市街地での内水氾濫[注1]や木曽川の氾濫による浸水被害などが想定され、災害に対応した備えと心構えが重要です。

特に、自然災害は想定範囲にとどまるものではないことは近年の大規模災害の実態からも明らかであり、地域全体で万一への備えを怠らないことが重要です。

また、様々なリスクを想定しながら、地域として環境負荷の低減に配慮したまちづくりを進めることにより、安心・安全な生活の維持を図ることが求められています。

注１　内水氾濫：市街地に降った雨の量が処理能力を超えて地域内であふれる状態のこと。

第５節　多様な価値を創造する地域

◆社会潮流の変化

人々の意識や価値観は、経済的な豊かさや生活の利便性を重視する姿勢から、主体的で個性的な生き方を通して、生活を楽しみ、生活の質を高めようとする方向へと移り変わっています。また、女性が継続して働くことができる条件の整備や男女の固定的な役割意識の解消など、女性の社会参加に支障となる要因をなくそうとする機運が高まっています。

加えて、グローバリゼーション[注2]やインバウンド[注3]観光の進展などにより、外国人来訪者の増加や多言語による対応なども必要となっています。

このため、世代や性別を問わず、多様なライフステージ（就職、結婚、子育て、介護など人生の各段階）にあわせ、国民一人ひとりが個性と能力を発揮するとともに、多様化に対応した価値観に基づいた生き方が可能となるような活動の場がある地域社会づくりが求められます。

◆江南市の状況

江南市においても、企業誘致や愛知江南短期大学などとの産学連携などを通じて、愛知のものづくりと連携した新たな産業形成や、シティプロモーション[注4]などの推進による地域の魅力向上につなげ、選ばれ続けるまちの実現を図り、市民が望む就業や活動の場を積極的に設け、その活動を通して個々の活力が地域に還元され、活気の湧く地域となることが求められています。

第６節　ＩＣＴ技術の進展

◆社会潮流の変化

ＩＣＴ[注5]分野における技術革新は著しいものがあり、近年では、すべての人やモノが様々なデバイス[注6]でネットワークにつながるＩｏＴ[注7]と呼ばれるような技術も開発されています。

また、ビッグデータ[注8]やオープンデータ[注9]が様々な場面で利用可能になりつつあり、多様な主体の活動にも活用することが期待されています。

今後、ＩＣＴ技術は、交通、医療、教育、防災など、幅広い分野における技術革新に寄与することが考えられ、私たちの暮らしや社会の向上に役立てていくための社会面・制度面での対応が課題となっています。

注２　グローバリゼーション：社会的あるいは経済的な関連が、国や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象。「経済財政運営と構造改革に関する基本方針２００２」（平成 14 年６月 25 日閣議決定）における経済活性化戦略の一つである「グローバル化戦略」に対応するもの。

注３　インバウンド：外国人旅行者を自国へ誘致すること。「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」に従い平成 15 年から本格的に始まったビジット・ジャパン・キャンペーンで知られる。

注４　シティプロモーション：地域住民の愛着度の形成を通じて、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上をめざすもの。

注５　ＩＣＴ：Information and Communication Technology の略。情報通信技術。

注６　デバイス：情報通信技術を活用するために用いる、機器、装置、道具。

注７　ＩｏＴ：Internet of Things の略。モノのインターネット。「モノをインターネットのように結ぶ次世代環境」という意味で実世界と仮想世界を融合するコンセプトに従った関連プロジェクトの総称。「日本再興戦略 2016」における施策の一つとしての「第４次産業革命」を牽引するもの。

注８　ビッグデータ：典型的なデータベースソフトウェアが把握、蓄積、運用し、分析できる能力を超えたサイズのデータ。

注９　オープンデータ：機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータであり、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもの。

◆江南市の状況

江南市においても、行政面にとどまらず、様々な場面でのＩＣＴ[注1]技術の活用が検討されていますが、生活都市としての機能を補完するための活用として、教育・観光・福祉分野など、江南市らしい活用方法を実現することが求められています。

第７節　市民参加・官民連携

◆社会潮流の変化

少子高齢化や核家族化、都市化の進行や近所付き合いのわずらわしさなどから、自治会（区・町内会）といった地縁組織[注2]の弱体化が進んでおり、防犯、防災、子育て、介護などにおける地域の助け合い機能が低下し、家族や地域コミュニティの維持が懸念されています。

他方で、社会の成熟化、価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民の社会への貢献意識や参加意識は高まっています。市民がまちづくりに参加したり、行政と協働で地域社会づくりを進めたりするなど、新たな住民自治を求める動きが起こり、全国各地で、自治基本条例[注3]の制定など「住民自治」の仕組みづくりが始まっています。また、地域のための公益的活動を行うＮＰＯ[注4]などの組織が、新たな地域社会の担い手として現れてきており、地縁組織と連携してコミュニティの復活を図る役割が期待されています。

また、まちづくりにおいては、民間のノウハウを活かした官民連携[注5]の取り組みも進められつつあり、自治体の限られた財源を有効に活用するとともに、市民参加とあわせて、地域主導での持続的なまちづくりに結びつけていくことが期待されています。

◆江南市の状況

江南市においても、平成23年４月に江南市市民自治によるまちづくり基本条例[注6]を施行し、市民自治によるまちづくりを推進しています。市民意向調査では、市政やまちづくり活動に参加している、あるいは参加したいと考える市民が約６割に達しています。江南市では、きめ細かく組織されている自治会（区・町内会）を中心に、新たなまちづくりの担い手である、ボランティア[注7]、ＮＰＯ、地域企業などにより、市民や地域の抱える課題を、地域の構成員が協力し合って地域の中で解決する仕組みを構築していくことが求められています。

また、再開発や地区整備において、民間事業者が参加しやすい環境整備を図るとともに、適切な民間開発を誘導するための行政の役割も重要となります。

注１　ＩＣＴ：Information and Communication Technology の略。情報通信技術。
注２　地縁組織：正式には「地縁による団体」といい、町内会や自治会など町または字の区域その他市町村の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体のこと。
注３　自治基本条例：住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定めた条例。江南市では「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」がこれに該当。
注４　ＮＰＯ：「Non-Profit Organization」または「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。
注５　官民連携：これまで行政が担っていた公共サービスについて、積極的に民間と協働し、民間の資本やノウハウの活用を進めること。
注６　江南市市民自治によるまちづくり基本条例：江南市におけるまちづくりの基本理念や、まちづくりの担い手の権利・責務や役割など、さらには市政運営の仕組みなどを定めた条例であり、平成 23 年４月１日に施行。
注７　ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。

第２章　江南市の概要

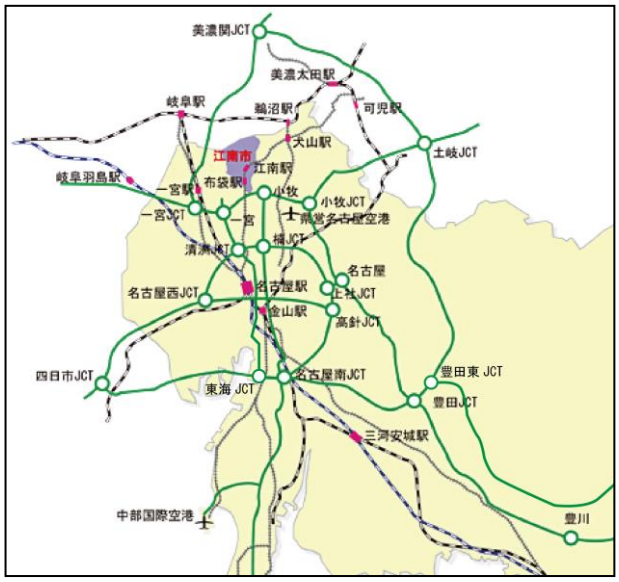
第１節　江南市の現状

１　位置・地形

江南市は濃尾平野の北部、清流木曽川の南岸に位置し、東西 6.1 ㎞、南北 8.8 ㎞、面積 30.20 ㎢のまとまりやすい市域であり、愛知県 54 市町村の内で 35 番目の面積規模の都市です。

「江南」とは木曽川を中国の長江（揚子江）に見立てて名づけたもので、地域と木曽川の関係は深く、地域のシンボルとなっています。地形は全般に平坦で、木曽川の恵みを受けた肥沃な扇状地が広がり、温暖な気候・風土とあいまって、暮らしやすい自然環境となっています。

【江南市の位置】



名古屋市から 20km 圏に位置し、名鉄犬山線により約 20 分で結ばれるなど利便性が高く、ベッドタウンとして都市化が進み、愛知県尾張北部の主要都市となっています。また、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道へのアクセスや、県営名古屋空港の利用にも便利な位置にあり、木曽川をはさみ岐阜県側の地域との交通結節点ともなっています。

２　沿革

江南の地は、古くは先土器時代から人が住み、狩猟や採集をしながら生活をしていました。市内では、その後の縄文時代の土器の破片が発見されています。

４世紀から６世紀の古墳時代にかけては、今なお残る二子山古墳や富士塚などから、当時の豪族がこの地を治めていたことがうかがえます。

荘園の時代を経て、戦国時代には織田信長や豊臣秀吉が若き日を過ごし、江戸時代にはこの地に36か村が存在したこともわかっています。

17世紀初めに築かれたお囲い堤により洪水の危険がなくなると、肥沃な土地を活かした農業が発達し、明治時代には養蚕が盛んになり、絹織物産業が発達しました。その後、化学繊維（人絹）による織物も生産されるようになり、大正元年には現在の名鉄犬山線が開通し、周辺都市との結び付きが強くなりました。

昭和29年６月１日に丹羽郡古知野町・布袋町、葉栗郡宮田町・草井村の４か町村の合併により江南市が発足し、名古屋市近郊のベッドタウンとして都市化が進んできました。

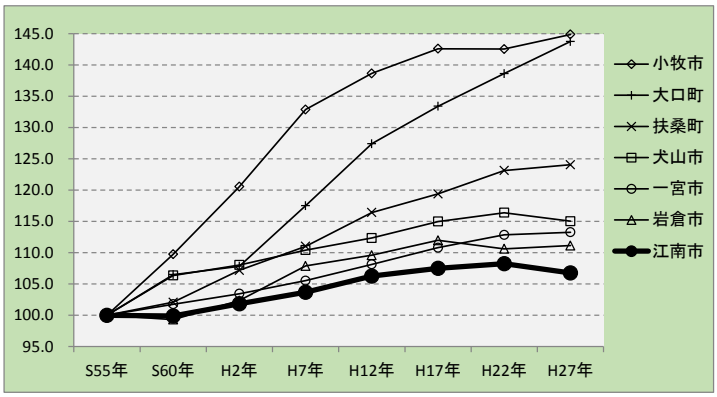
３　人口動向

◆人口増減

近隣市と比較して人口増加傾向が弱く、既に人口減少に転じている

国勢調査結果から、昭和 55 年人口を 100 とした時の人口の推移を江南市と近隣市町[注1]で比較してみると、江南市の人口の伸びは最も低く、平成 27 年には減少に転じています。

【江南市と近隣市町の人口の推移】



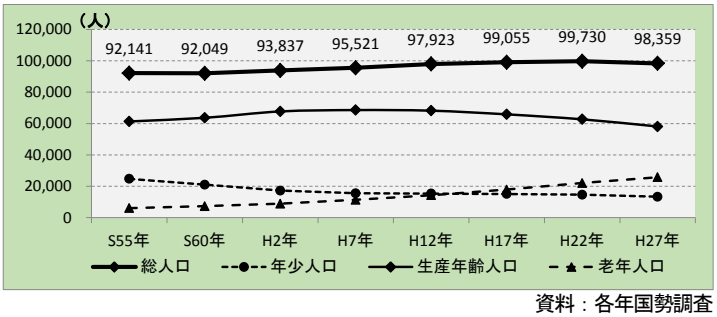
※昭和 55 年の各市町国勢調査人口を 100 とした、各年国勢調査人口の指数

◆人口構成

年少人口・生産年齢人口は減少し、老年人口が増加。今後もこの傾向が継続する見込み

年少人口（０～14 歳）・生産年齢人口（15～64 歳）・老年人口（65 歳以上）の年齢３区分の構成割合の推移は、年少人口、生産年齢人口が減少傾向、老年人口割合が増加傾向で、近隣市町及び県内類似団体[注2]も同様の傾向です。

【江南市の人口構成の推移】



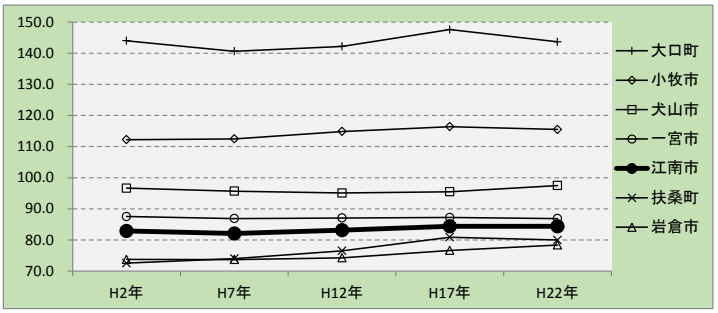
資料：各年国勢調査

◆人口流動

昼間は通勤・通学による人口流出が多く、市内に通勤・通学の場が少ない

昼夜間人口比率[注3]は、近隣市町では大口町、小牧市が 100 を超えていますが、江南市は 80 台前半で推移しており、通勤・通学による市外への人口流出が多く、市内での通勤・通学の場が少ないことがうかがえます。

【江南市と近隣市町の昼夜間人口比率の推移】



資料：各年国勢調査

注１　近隣市町：ここでは、名古屋鉄道や高速道路などの交通アクセスの視点から、一宮市、犬山市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町の６市町としている。
注２　類似団体：財政状況を比較分析するため、都道府県は財政力指数、市町村は人口及び産業構造によりグループ分けを行ったもの。ここでは、「平成 27 年度類似団体別市町村財政指数表」における、江南市と同一グループ（Ⅱ－２）の市を類似団体としている。
（津島市、碧南市、蒲郡市、犬山市、常滑市、大府市、知多市、知立市、豊明市、清須市、北名古屋市、みよし市、あま市の 13 市）
注３　昼夜間人口比率：夜間人口 100 人当たりの昼間人口。

4　土地利用

人口密度が高く、まとまった地域

近隣市町及び類似団体における人口集積状況を、行政区域及び人口集中地区[注4]の人口密度の状況でみると、江南市の行政区域の人口密度は高く、近隣市町と類似団体をあわせた 18 市町の内、北名古屋市、岩倉市、清須市、尾張旭市、一宮市に次いで、６番目に高い人口密度となっています。

【江南市と近隣市町・類似団体の人口密度の状況】

人口密度（平成27年）	行政区域人口密度（人/ha）	人口集中地区人口密度（人/ha）
江南市	32.57	59.89
近隣市町平均	25.48	55.40
類似団体平均	21.06	55.91

資料：愛知県　平成 28 年版「土地に関する統計年報」

他市町と比較し、住宅地の割合だけでなく、農地の割合も高く、豊かな土地活用がされている

一方、土地利用の主な地目別面積をみると、農地、道路、宅地の割合が近隣市町の中では比較的高く、特に、宅地の割合は最も高くなっており、宅地の内訳で住宅地が最も割合が高くなっています。

【江南市と近隣市町・類似団体の土地利用状況】 平成27年

面積（ha）	行政区域	土地利用区分別					
		農地	森林	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
江南市	3,020	672	0	257	440	1,342	310
近隣市町	31,700	6,503	4,114	2,347	3,914	11,299	3,522
類似団体	46,260	10,917	5,625	3,825	4,986	13,306	7,601

割合（%）	行政区域	土地利用区分別					
		農地	森林	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
江南市	100.0	22.3	0.0	8.5	14.6	44.4	10.3
近隣市町	100.0	20.5	13.0	7.4	12.3	35.6	11.1
類似団体	100.0	23.6	12.2	8.3	10.8	28.8	16.4

資料：愛知県　平成 28 年版「土地に関する統計年報」

道路整備は進んでいる一方、公園整備が遅れている

さらに、都市基盤である、道路及び公園の整備状況を、近隣市及び類似団体でみると、江南市の道路整備は比較的進んでいる一方で、公園整備が比較的遅れている状況です。

【江南市と近隣市町・類似団体の道路・公園整備状況】

道路（平成27年度）	道路密度 道路延長（m）/行政区域面積（ha）	道路率 道路面積(㎡)/行政区域面積（㎡）
江南市	236.83	12.25%
近隣市町平均	187.12	10.07%
類似団体平均	154.83	9.14%

公園（平成27年度）	公園密度 公園数（箇所数）/人口（千人）	公園率 公園面積(㎡)/行政区域面積（㎡）
江南市	0.27	0.93%
近隣市町平均	0.51	1.04%
類似団体平均	0.76	1.26%

資料：総務省「公共施設状況調」

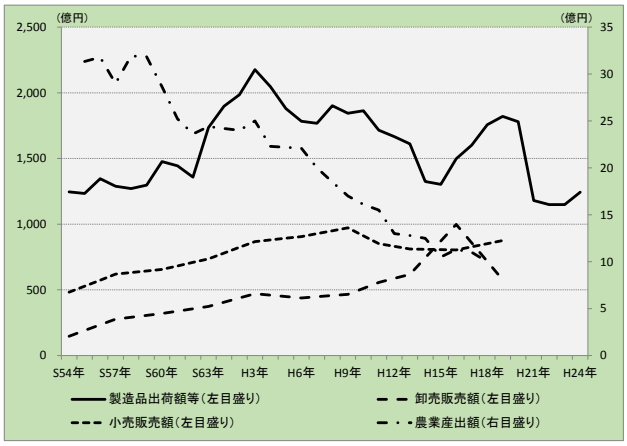
注4　人口集中地区：国勢調査時において、原則として人口密度が１k㎡当たり 4,000 人以上の基本単位区などが市区町村の境域内で互いに隣接して、5,000 人以上を有する地域。

５　産業経済

第二次・第三次産業は微増傾向
第一次産業は減少傾向

江南市の主要産業である農業、製造業、卸売業、小売業の状況は、一番の主要産業は製造業で、卸売業、小売業が微増傾向で推移し、農業は近年減少傾向にあります。

【江南市の産業の推移】



資料：農林水産省「生産農業所得統計」、経済産業省「工業統計調査」、経済産業省「商業統計調査」

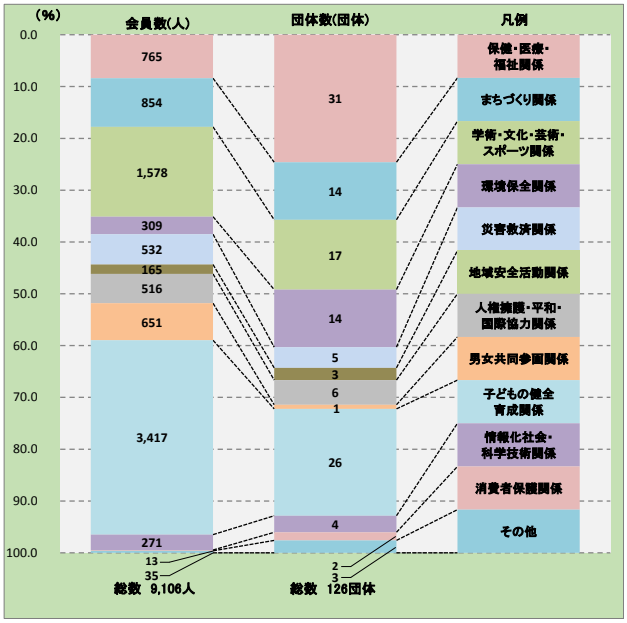
６　市民活動

多くの市民が市民活動に参加

江南市内では多くのＮＰＯ[注1]・ボランティア[注2]などの団体が活動しており、活動する会員数（平成 29 年８月１日現在）は延べ 9,106 人であり、多くの市民が活動に関わっている状況です。

また、市では地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていこうという事業に対して補助を行い、地域の自治力を高めていくことを目的とする「地域まちづくり補助事業」を始め、各種支援を実施しています。

【江南市の市民活動団体の状況】



資料：「江南市　ＮＰＯ・ボランティアガイド」（平成 29 年８月発行）

７　財政

財政力は県内平均を下回るものの、堅実な財政運営

江南市の財政は自主財源[注3]が歳入の半分程度であり、財政力指数[注4]は 0.81（平成 27 年度決算）で、県内では名古屋市を除く 37 市中 32 位と高くありませんが、全国平均 0.50 を上回っています。高齢化に伴い社会保障費[注5]などが増加する中、市債残高の抑制に努めるなど、堅実な財政運営を行い、財政の弾力性を示す経常収支比率[注6]や、借入負担の健全度を表す実質公債費比率[注7]などは比較的、健全な数値を保っています。

注１　ＮＰＯ：「Non-Profit Organization」または「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。
注２　ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。
注３　自主財源：市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税（市民税、固定資産税など）。その他には、分担金・負担金（市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金）や使用料（公共施設を利用したときに徴収される料金）、手数料（証明書などの交付を受けたときに利用者が負担するお金）、諸収入（他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入など）などがある。
注４　財政力指数：地方自治体の財政力を示す指数で、標準的な行政運営に必要な一般財源を、市税などの収入でどの程度まかなえるかを表す。この指数が高いほど、財源に余裕があるといえる。なお、１を超える団体は、普通交付税の交付を受けない。
注５　社会保障費：一般歳出における医療や年金、介護、生活保護などの社会保障分野の経費。
注６　経常収支比率：市税などの経常的に収入される一般財源に対して、経常的な経費に充てた一般財源の割合を表す指標。この割合が高いほど財政構造に弾力性を失いつつある状態で、75%程度が適当といわれている。
注７　実質公債費比率：財政の健全化を判断する指標の１つで、標準的な規模の収入に対して、借入金の返済額とこれに準ずるもの（公営企業債返済の繰出金など）を加えた実質的な公債費の割合を表す。18%以上で地方債の許可の制限を受ける。

第２節　市民意識

「第６次総合計画」策定の基礎資料とするため、平成 28 年度に市民意向調査を実施しました。主な調査項目における市民意向は以下のとおりです。

- 居住意向

約 77%が「大変住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」、約 66%が「今後も市内に住み続けたい」と回答していますが、若年世代や居住年数が短い方の定住意向が比較的低くなっています。

また、転出意向のある方は全体の約 14%で、市外に転居したい理由としては、公共交通の利便性や買い物などを楽しめる環境の充実度が低いことが多くなっています。

- 江南市の経済発展のあり方

「雇用や就業の場の確保に向けた環境整備や規制緩和」を求めるものが約 36%で最も多く、次いで、「生活しやすい『住宅都市』」を求めるものが約 30%となっています。若年世代では、「生活しやすい『住宅都市』」に対する期待が高くなっていますが、年齢が高まるにつれ、「雇用・就業の場の確保」を求めるものが多くなっています。

- 江南市の就労環境

「事業所による就労環境向上への取り組み」を求めるものが約 30%で最も多く、次いで、「行政による個人に対する支援」を求めるものが約 25%となっています。高齢者では、「行政による個人に対する支援」を求めるものが多くなっています。

- 江南市の公共サービスのあり方

「負担維持・協働による公共サービス維持・向上」が約 43%で最も多く、次いで、「負担維持・市のサービス一部減少」が約 39%となっています。10 歳代・60 歳以上ではこの傾向にありますが、20 歳代～50 歳代の中堅世代では、「負担維持・市のサービス一部減少」が多くなっており、違いが見られます。

- 江南市のまちづくりのあり方

「コンパクトなまちづくりを進めるべきである」が約 38%で最も多く、次いで、「新たな開発などを進め市街地を拡大すべき」の約 33%となっています。64 歳まで、年齢が高くなるにつれ、「コンパクトなまちづくりを進めるべきである」が多くなっています。

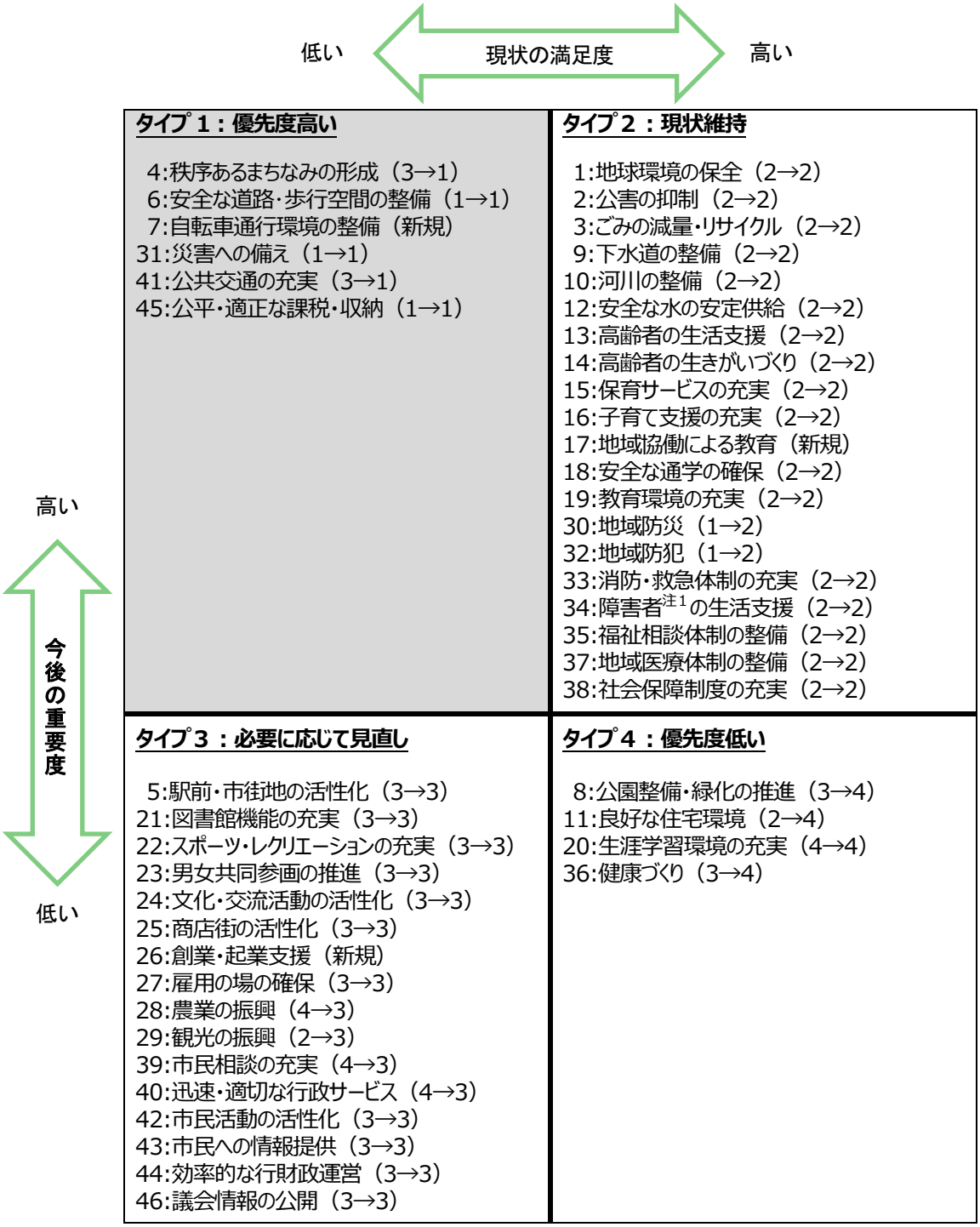
- 市民と行政との協働によるまちづくり

「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めるべき」が約 57%で最も多く、次いで、「市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」の約 27%となっています。年齢が高まるにつれ、行政主導によるまちづくりを選択される傾向がありますが、どの年代も、市民と行政の協働によるまちづくりを前提としていると考えられます。

● 江南市の取り組みに対する現状の満足度・今後の重要度の分析

平成 18 年度の「戦略計画」策定時に実施した市民意向調査と平成 28 年度に実施した市民意向調査について、46 の取り組みにおける「満足度」「重要度」を比較しました。「満足度」は、ほとんどの項目で上昇した一方、「重要度」については多くの項目が下降しました。満足度が上昇した結果、相対的に重要度が下がったと考えられます。

下図は、各取り組みを満足度・重要度の平均値から４つに分類したものです。



タイプ１：優先度高い

4:秩序あるまちなみの形成（3→1）
6:安全な道路･歩行空間の整備（1→1）
7:自転車通行環境の整備（新規）
31:災害への備え（1→1）
41:公共交通の充実（3→1）
45:公平･適正な課税･収納（1→1）

タイプ２：現状維持

1:地球環境の保全（2→2）
2:公害の抑制（2→2）
3:ごみの減量･リサイクル（2→2）
9:下水道の整備（2→2）
10:河川の整備（2→2）
12:安全な水の安定供給（2→2）
13:高齢者の生活支援（2→2）
14:高齢者の生きがいづくり（2→2）
15:保育サービスの充実（2→2）
16:子育て支援の充実（2→2）
17:地域協働による教育（新規）
18:安全な通学の確保（2→2）
19:教育環境の充実（2→2）
30:地域防災（1→2）
32:地域防犯（1→2）
33:消防･救急体制の充実（2→2）
34:障害者[注1]の生活支援（2→2）
35:福祉相談体制の整備（2→2）
37:地域医療体制の整備（2→2）
38:社会保障制度の充実（2→2）

タイプ３：必要に応じて見直し

5:駅前･市街地の活性化（3→3）
21:図書館機能の充実（3→3）
22:スポーツ･レクリエーションの充実（3→3）
23:男女共同参画の推進（3→3）
24:文化･交流活動の活性化（3→3）
25:商店街の活性化（3→3）
26:創業･起業支援（新規）
27:雇用の場の確保（3→3）
28:農業の振興（4→3）
29:観光の振興（2→3）
39:市民相談の充実（4→3）
40:迅速･適切な行政サービス（4→3）
42:市民活動の活性化（3→3）
43:市民への情報提供（3→3）
44:効率的な行財政運営（3→3）
46:議会情報の公開（3→3）

タイプ４：優先度低い

8:公園整備･緑化の推進（3→4）
11:良好な住宅環境（2→4）
20:生涯学習環境の充実（4→4）
36:健康づくり（3→4）

※各取り組み名の末尾のカッコ内の数字について:
（［平成 18 年度調査時タイプ番号］ → ［平成 28 年度調査時タイプ番号］）

注１　障害者：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する障害がある人のこと。

第３節　江南市の課題

江南市を取り巻く状況、現状などから、内部環境・外部環境に対応した、強み・弱み・機会・脅威を整理し、今後のまちづくりを進める上での課題を以下に示します。

内部環境 ＼ 外部環境		強　み	弱　み
		●名古屋都心や広域への交通アクセスを活かした住宅・産業立地の優位性 ➢江南ー名古屋間は、名古屋鉄道の特急電車で所要時間約 18 分、市内から東名高速道路小牧ＩＣまで、自動車による所要時間が約 20 分など、主要交通アクセスが良好です。 ●緑や水辺などの良好な自然環境や歴史資源を活かした魅力形成 ➢フラワーパーク江南など木曽川沿いの緑や、曼陀羅寺を始めとする歴史資源などを活かした祭事やイベントに多くの来訪者があります。 ●市内に立地する高等教育機関と連携したまちづくりの展開 ➢愛知江南短期大学との包括的な連携体制により、学校や学生との協働によるまちづくり活動を推進する体制が整っています。 ●震災時の低被災リスク ➢木曽川沿川地域の比較的良好な地盤条件により、被災リスクが比較的低くなっています。	●人口減少への転換 ➢総人口が減少に転じており、年少人口・生産年齢人口が減少する半面、老年人口は増加しており、少子高齢化の進展による人口構造の変化が危惧されます。 ●道路整備・維持管理に係る財政負担 ➢道路密度・道路率が高い反面、その整備・維持管理が負担となっています。 ●市内の弱い産業経済基盤 ➢市内に規模の大きな事業所が少なく、市内就業の場が十分に確保されていません。 ➢市街化調整区域などを中心に農地が分布するが、農業従事者の高齢化や農家数の減少などにより、農業は縮小傾向にあります。 ●駅周辺などにおけるにぎわいの不足 ➢江南駅・布袋駅の周辺のにぎわいが弱く、市内に点在する観光資源も多いとは言えず、観光拠点間の連携も強くありません。
機会	●リニア中央新幹線による東京との関係性向上と国際競争力強化 ➢リニア中央新幹線名古屋ー東京間の開通により、所要時間が飛躍的に改善され、名古屋から至近の江南市においても東京からの集客などを期待できます。 ➢スーパー・メガリージョン[注2]の一翼を担う中部圏に位置する江南市の国際競争力強化へ向けた取り組みを推進することが期待できます。 ●近隣市町[注3]と比較した開発優位性 ➢江南駅は特急停車駅ですが、駅周辺地価が比較的安いことから、今後、開発などの機運の高まりが期待されます。 ➢布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあわせた駅周辺整備などにより、新たな拠点整備が期待されます。	**強みによる機会の活用** ◆ 交通アクセスの優位性や自然・歴史資源などの地域資源を活かして、地域の魅力向上が必要。 ◆ 国土形成の動向を踏まえて、名古屋都心や広域への交通アクセスを活かし、市内に立地する企業が愛知県におけるものづくりの一翼を担うことが必要。 ◆ 布袋駅付近鉄道高架化整備事業の進捗にあわせた新たな拠点形成により江南市の優位性の向上を図ることが必要。	**機会を活かした弱みの克服** ◆ 名古屋都心や東京を見据えた江南市の魅力発信に向けたプロモーションが必要。 ◆ 市内の拠点整備の推進により、産業基盤の充実やにぎわい形成を促すことにより安定的な財源確保に結びつけることが必要。 ◆ 限られた財源を有効に活用しながら市民サービスの提供を行うための効率的な行政経営が必要。
脅威	●近隣市町との「住宅都市」としての位置づけの競合 ➢近隣市町が江南市同様の住宅都市としての位置づけが多いため、魅力的な住宅地としての競合が考えられます。 ●近隣市町における企業立地進展 ➢近隣市町における大規模事業所などの立地により、就業の場が奪われ、市外転出の動機づけとなることが懸念されます。	**強みによる脅威の回避** ◆ 良好な生活環境を活かすとともに、愛知江南短期大学との包括連携など、近隣市町との差別化を図った魅力の発信が必要。 ◆ 近隣市町の産業集積との連携を見据えた江南市内への企業誘致を推進することが必要。	**弱み・脅威の克服** ◆ 子育てしやすい環境や支援の充実を図ることにより、人口減少を抑制し、持続的なまちづくりにつなげていくことが必要。 ◆ 企業立地を誘導し、職住近接の就労の場の確保により住み続けられる都市としての魅力向上を図ることが必要。

注２　スーパー・メガリージョン：「国土のグランドデザイン２０５０」における具体的な基本戦略の一つとして示されている構想。世界最大のスーパー・メガリージョンの形成による国際競争力強化をめざして、リニア中央新幹線により首都圏・中部圏・近畿圏を一体化すること。

注３　近隣市町：ここでは、名古屋鉄道や高速道路などの交通アクセスの視点から、一宮市、犬山市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町の６市町としている。

第３章　江南市の将来像

第１節　めざす都市の将来像

江南市は、将来の少子高齢化・人口減少が見込まれていることから、いかに人口減少を抑制し、持続的なまちづくりを実現できるかが大きな課題となっています。そのためには、転出者の抑制による定住化の促進を図りつつ、出産・子育てのしやすい地域社会を構築することにより自然増を図り、多くの人から「選ばれ続けるまち」となることが当面の課題として考えられます。

そのため、江南市の名古屋市都心部への高いアクセス性や、木曽川下流域に比べ良い地盤と豊かな自然環境をもつ江南市の地理的優位性を活かし、人口減少社会を見据えた都市的機能の集約や自然環境を活かしたレクリエーション・生活環境の充実を図るなど、地域の魅力を向上させることが重要です。

また、企業誘致や市内企業の支援を通じて、雇用の場や職業選択の幅の拡大を図り、女性や高齢者の社会参加を推進することにより「すべての人が活躍できる地域」をめざすとともに、今まで培ってきた地域連携を更に強化し、市民と行政が協働することにより「地域全体による支え合い」を通して、人口減少を克服し、世代間で歴史・文化が継承される社会をめざすことも重要です。

以上から、江南市ではすべての人がゆとりと生きがいをもって暮らせる、生活の場としての魅力あるまちづくりをめざして、平成39年度までにめざす都市のすがたを次のように定めます。

地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市
～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～

◆生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。



第２節　基本目標

将来像の実現に向け、具体的施策を展開する上での基本目標を以下の５つとします。

基本目標１：地域の魅力を活かした機能的なまちづくり

質の高い都市空間の整備を進めることにより、誰もが住みたい、住み続けたいと思える生活環境の充実をめざします。特に、名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺などの良好な自然環境や来訪者が多い曼陀羅寺をはじめとした歴史資源などの江南市の強みを活かし、コンパクト・プラス・ネットワーク[注1]の考え方に基づいた、都市的機能と自然環境が調和した機能的なまちづくりをめざします。

これにより、江南市の魅力を活かした生活しやすいまちとして、「生活環境が快適なまち」の実現をめざします。

基本目標２：子どもが生き生き育つ環境づくり

妊娠・出産から育児までの切れ目のない子育て支援制度の充実や、地域で支える連携事業の推進などにより、“子どもをもちたい”“子育てが楽しい”と思える環境形成をめざします。また、ＩＣＴ[注2]の活用や個性を活かし地域と連携した教育環境の充実や、生涯を通じた学習機会や交流促進などにより、次世代を担う子どもの心身の健全な育成をめざします。

これにより、子育て・教育環境づくりを推進し、地域が支える「子どもが生き生き育つまち」の実現をめざします。

基本目標３：生活を支える雇用・就労環境づくり

市民生活を経済的に支えるための雇用の安定と創出、地域経済の活性化を図るための企業誘致の推進や市内事業者への支援の充実をめざします。また、農業などの既存産業の振興や市内事業所などと連携して、若い世代の就職機会の確保や女性、高齢者などが働き続けられる就労環境を創出することにより、多様な働き方を提供できる産業構造をめざします。

これにより、誰もが生涯を通じて社会と関わりをもてる「生涯活躍できるまち」の実現をめざします。

基本目標４：安心・安全の地域づくり

市民が安心して暮らすための自助・共助の理解を深め、自然災害などへの備えや日常的な地域の防犯、交通安全など、災害・緊急時だけでなく日常生活においても、地域社会を構成する様々な団体や市民同士がともに助け合い、高齢者、障害者[注3]や外国人居住者などを含め、相互に見守り、地域で支え合う地域福祉の意識をもったコミュニティの育成をめざします。また、自らの健康維持に努め、生涯を通じて健康な生活を送ることにより、生きがいをもって暮らし続けられる地域づくりをめざします。

これにより、一人ひとりの支え合いの意識の醸成を図り、安心して地域で暮らし続けられることを通じて、健全で持続的なコミュニティの維持による「安心・安全なまち」の実現をめざします。

基本目標５：常に改革を進める行政

限られた財源を有効に活用している状況を市民にわかりやすい形で広く発信していくことに努めるとともに、施策実施への市民理解と協力を得るため、市職員が行政評価[注4]による計画の進捗管理などを通して、継続的な業務改善を進めていくことができる行政をめざします。

これにより、市民と行政が協働して的確な施策実現を行うことによる「信頼される行政」の実現をめざします。

注１　コンパクト・プラス・ネットワーク：国土交通省が提唱している政策であり、人口減少や高齢化が進む中にあっても、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活サービス機能を確保し、住民が安心して暮らせる、持続可能な都市経営を実現できるよう、関係施策間で連携しながら、都市のコンパクト化と拠点間の交通ネットワーク形成をすること。「国土のグランドデザイン２０５０」では、基本戦略の一つとして「コンパクト＋ネットワーク」と示されている。

注２　ＩＣＴ：Information and Communication Technology の略。情報通信技術。

注３　障害者：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する障害がある人のこと。

注４　行政評価：市で実施している施策や事務事業について、その成果目標の達成状況を把握し、業務の改善、今後の施策の展開に向けての意思決定に活かすもの。

第４章　市民協働のあり方

第１節　市民協働の基本方針

いま、わが国は、少子高齢化の下で人口減少段階に入るとともに、世界を一つの市場に巻き込んでいくグローバリゼーション[注1]と呼ばれる地球的な規模の大きな流れの中で、産業構造や環境条件の変化に対応するために、国家や社会のあり方についての模索を続けています。その一つの動きが地方分権の推進であり、わが国の地方自治は、市民自治のいっそうの発展に向けて大きな転換期を迎えています。

江南市では、次世代育成や高齢者の生きがいづくりなど、支え合いの福祉の推進による安心かつ安全で温かい生活環境づくり、男女共同参画と多文化共生[注2]による平和で明るく豊かな人間関係の育成、先人が切り拓いてきた貴重な郷土の歴史と温暖な自然環境を活かした美しくうるおいのある生活と文化の継承や発展のために、総合計画に基づいて、力強くまちづくりを進めています。これからも、まちづくりの担い手である市民、事業者、行政などがいっそう強い協働の関係を築き、地域の総力を結集する仕組みを作っていく必要があります。

そのためには市民一人ひとりが自治の主体であることを自覚し、市民一人ひとりの思いを活かした市民自治によるまちづくりの推進をめざすことが必要です。

また、行政は、市民の信託に応えて効果的に市政を運営し、よりよい市政の実現のため、これからも自らの責任を果たしていく必要があります。

めざす市民協働のすがた

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

このような地域社会を実現するために、以下を基本方針として、市民協働を進めます。

市民協働の基本方針

1 人材育成
　地域で活躍する人材、地域社会づくりの核となる人材の育成に力を入れる。
2 情報共有
　地域のみんなが同じ視点で物事を考えることができるよう、行政からの情報発信、市民からの情報発信、相互の情報共有や信頼構築などに力を入れる。
3 市民参加の推進
　市政への市民参加に関する仕組みづくりに力を入れる。
4 協働の環境づくり
　コミュニティ活動が活発に行われるようなきっかけづくりや仕組みづくり、市民の活動と行政の活動が連携するような環境づくりに力を入れる。

注１　グローバリゼーション：社会的あるいは経済的な関連が、国や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象。「経済財政運営と構造改革に関する基本方針２００２」（平成 14 年６月 25 日閣議決定）における経済活性化戦略の一つである「グローバル化戦略」に対応するもの。
注２　多文化共生：国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認めた上で、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

第２節　協働の基本的な考え方

１　協働の定義

「協働」とは、「同じ目的のために協力して物事をすること」をいいます。

江南市における市民協働における「協働」とは、「市民、事業者、行政などが、それぞれの立場及び特性を相互に尊重した上で、それぞれの役割及び責務を自覚し、対等な立場で目的の遂行に向かって協力すること」をいいます。

市民と行政との協働だけでなく、ＮＰＯ[注3]などの市民団体と自治会の協働、市民団体と企業の協働など、地域内での幅広い連携と適切な分担による協力関係を指します。様々な主体が、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、相互に協力して活動することにより、そこに相乗効果が生まれ、地域に新たな価値がもたらされることが期待されます。

２　協働の目的と意義

少子高齢化が進展し人口減少社会に入り、地域の人口構造やコミュニティのあり方が大きく変わりつつあります。江南市においても、市民の暮らしや仕事のあり方が多様化しています。これからの時代に適応した、持続可能な文化的で成熟した新しい地域社会を築いていくことが求められています。

そのためには、これまで進めてきた市民、事業者、行政などの「協働」による取り組みをさらに推進していくことが大切です。江南の地に暮らし活動する市民、事業者、行政などが互いに協力することにより、各主体の知恵、技術、経験、意欲などを、「協働」の力として大きく発揮させることができるものと期待されます。

今後、行政における財政状況が厳しくなる中で、市民自らが切実に必要としている公共サービスを、「協働」の力で取り組むことにより、効率的できめの細かいサービスを供給することが可能となります。また、市民が主役になって地域社会づくりに参加するからこそ、複雑化する地域課題により適切に対応することが可能となります。このように「協働」は、市民、事業者、行政などが互いに助け合い、力を発揮し合うことにより、地域全体で新しい「公共」を創造し、市民を幸せにすることができる可能性をもっています。

「協働」の取り組みを一つひとつ行うことによって、市民の自治意識はより向上し、江南市という地域社会を、市民が主体的に維持、管理、運営していく力量も高まります。新しい「協働」の地域社会の構築は、江南市が地域としての自立をめざす上で、大きな支えとなるものです。

注３　ＮＰＯ：「Non-Profit Organization」または「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

３　協働の担い手

協働の担い手は、市民、事業者、行政などであり、それぞれの主たる役割を次のように定めます。

○市民（個人・家庭）

江南市を生活の場とする市民（個人・家庭）は、自らが、地域社会づくりの主役であることを自覚し、常に参加と貢献の意識をもって、日々の暮らしを営みます。

○自治会

地縁によってつながる組織である自治会（区・町内会）は、それぞれの地域に根ざした課題を、自らの問題として認識し、自らの力で解決するための努力をします。

○市民団体

志や使命によってつながる組織であるボランティア[注1]団体やＮＰＯ[注2]などの市民団体は、高い志と使命感をもち、専門性や機動性を発揮して、公益につながる活動に取り組みます。

○企業

江南市で経済活動を行う企業は、自らも地域社会の一員であり、地域に貢献するという自覚をもって、専門的な人材や技術、保有する施設や資金などを活かして、地域社会づくりに積極的に参加します。

○教育・研究機関

江南市で教育・研究活動を行う機関は、専門的な人材や保有する施設を活かして地域社会に参加します。さらに、その専門的活動で得られた成果を積極的に地域社会へ還元し、地域協働の発展に貢献します。

○行政

行政は、市民とともに地域社会のあり方を考え、地域の資源をコーディネートして、地域に新しい価値を生み出すよう努めます。また、自らの担うべき公共サービスを効率的・効果的に提供します。

注１　ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。
注２　ＮＰＯ：「Non-Profit Organization」または「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

4　協働の原則

○市民主体

市民協働において、市民の主体的な意思と責任に基づく「市民自治」の下に行われることが求められます。

○多様な主体間での協働

市民協働を推進していくために、市民、事業者、行政などが互いを信頼し合い尊重し合う関係、「アイデアを出し合い、新しいものをつくりだす」関係を確立しながら、協働して取り組むことが求められます。

○平等

市民協働においては、男女の対等はもちろん、子どもや外国籍の市民なども、その主体的な意思により、平等に参加できることが求められます。それにより、協働の担い手が協働の目的と取り組みの目標を共有し、それに向かって心をひとつにして行動することが求められます。

○情報共有

市民協働を推進するためには、市民、事業者、行政などが、それぞれが保有する情報を公開し、相互に提供するなどして、共有することが求められます。

第５章　行政経営のあり方

第１節　行政経営の基本方針

行政が、自らのもつ経営資源を最大限に活かして、市民や地域に成果をもたらすために行う活動・営みを「行政経営」といいます。

地方分権や地方創生[注1]への取り組みが活発となり、全国の各自治体が特色ある地方行政の運営を模索する中、江南市の「行政経営」は、厳しい財政状況の中、自らの努力により健全で持続可能な財政基盤を確保し、将来を見据えて、自らの判断で地域の実情に合った政策展開を図り、魅力ある地域社会づくりにつなげていくことを最大の目標としています。

そのためには、行政の各組織が、めざすべき展望や目標、使命を明確にし、それを効果的に実現できるよう、戦略計画から取り組んでいる行政マネジメントを継続することが重要となります。さらに、それを動かす職員が、常にチャレンジ精神をもち、自らの経営能力を向上させる努力を惜しまず、最大限の力を発揮して業務遂行を図ることが求められます。

また、市長が推し進める政策ビジョンを明確にし、組織を横断して取り組むことで、より効率的・効果的に政策を実現できるよう、戦略的に政策を展開していきます。

「第６次総合計画」では、「戦略計画」で取り入れた行政マネジメントの考え方を継続しつつ、より効率的・効果的な行政経営を実現するための工夫を図っていきます。

めざす行政経営のすがた

市長の戦略政策により、政策の将来ビジョンが示され、各組織がその実現に向けて組織を横断して政策に取り組んでいる。

また、行政の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、行政マネジメントを継続的に実施し、効率的で効果的な業務執行をしている。

それにより、限られた経営資源の中で、持続可能な財政基盤を確保し、最大の成果を実現することで、市民からの信頼を得ている。

全職員が、常に創意工夫をしながら業務を遂行するとともに、経営能力を向上させる努力を惜しまず、最大限の力を発揮している。

注１　地方創生：東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策。平成 26 年（2014 年）９月３日の第２次安倍改造内閣発足時の総理大臣記者会見で発表された。

このような行政経営を実現するために、以下を基本方針として、運営を進めます。

行政経営の基本方針

1 市長の戦略政策の実現

市長の戦略政策を、効率的・効果的に実現できる仕組みづくりに力を入れる。

2 トップマネジメント[注2]の政策立案機能の強化

江南市の地域全体の戦略本部としての、経営層の機能強化に力を入れる。

3 自立型の経営システムの確立

行政の各組織が、明確な目標をもって、与えられた経営資源を活用して、最大の成果をあげる経営を行うことができる仕組みの構築に力を入れる。

4 経営のできる人材の育成

経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材の育成に力を入れる。

5 職員意識と組織風土の改革

従来のすがたにとらわれず、職員があらゆる視点から改革に挑戦する職員の意識づくり・組織の風土づくりに力を入れる。

注2　トップマネジメント：組織の方向づけを行い、ビジョンを明らかにし、基準を設定する機関であり、一般には経営層をいう。江南市では、市長、副市長、教育長、部長相当職にある者をトップマネジメントと位置づけている。

第6章　目標フレーム

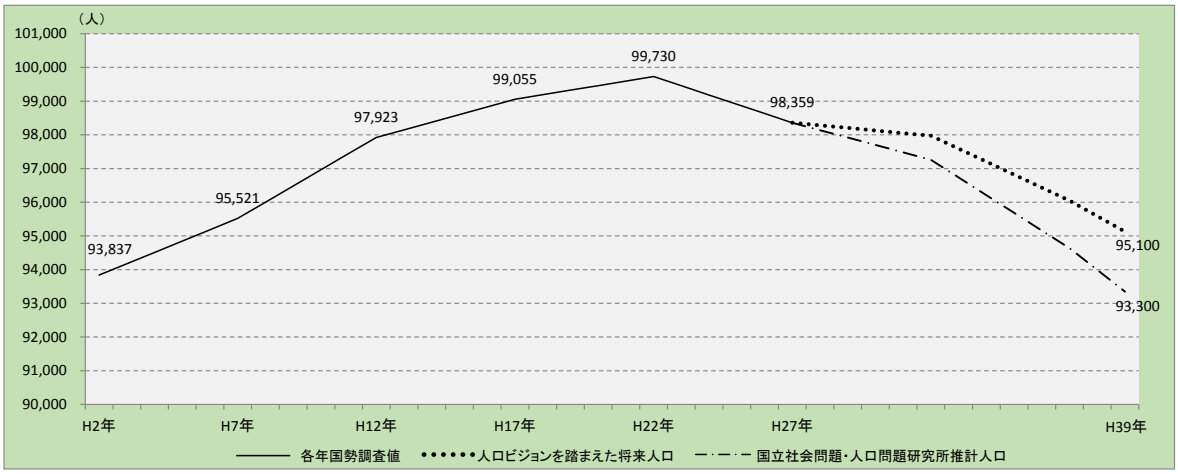
第１節　人口

江南市の人口は、平成27年10月１日現在、98,359人となっていますが、将来的に人口減少が続くことが見込まれます。

今後の人口減少抑制の施策展開を見込んで推計した「人口ビジョン」[注1]における、人口の将来展望を踏まえ、平成39年度目標人口を次のように設定します。

平成３９年度目標人口　９５，１００人

【江南市の将来人口動向】



第２節　土地利用

木曽川に沿って広がる江南市の地形は、全般に平坦で、木曽川の恵みを受けた肥沃な扇状地が広がっています。この貴重な資源である土地は、市民生活や産業活動の基盤であり、その利用に当たっては長期的な視点が必要です。

この考え方に基づき、江南市の将来像である「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市　～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」を実現するため、人口減少の視点を踏まえつつ、活力ある地域を支える適切な土地利用を展開するため、恵まれた自然・大都市近郊といった地域の特性、周辺都市との連携、社会経済情勢を踏まえた計画的な土地利用を進めることを目標とします。

注１　人口ビジョン：平成 28 年３月策定の「江南市人口ビジョン」のことであり、人口減少やそれに伴う経済縮小の克服に向けて、人口の現状分析や将来人口推計などをもとに、今後のめざすべき将来の方向と人口の将来展望を示したもの。

【参考資料２】

第6次江南市総合計画

愛と知との
江南市計画

前期基本計画期間　平成３０年度～令和５年度

達成状況報告書





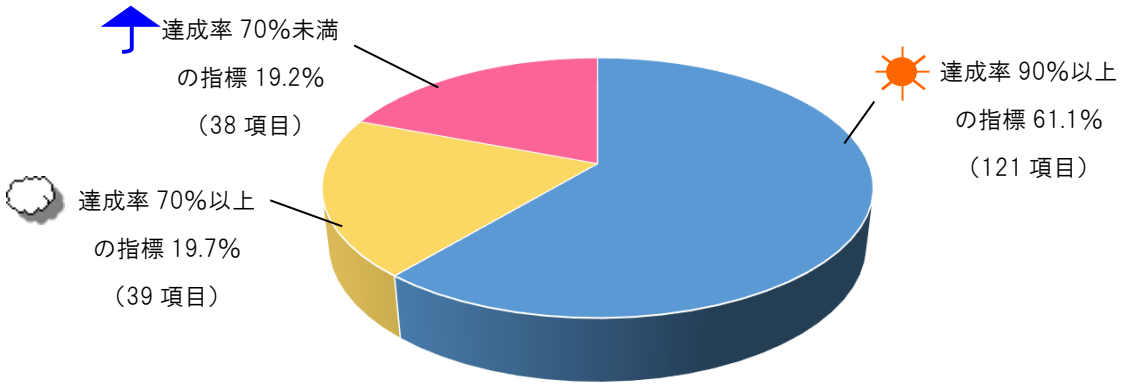
江　南　市

第３章　前期計画期間の達成状況

1. 全体の目標達成状況

「江南市総合計画」の全指標の平均目標達成率は 99.2%となっています。また、達成率70%以上の指標の割合は、80.8%となり、概ね目標を達成している状況といえます。

平均目標達成率（全体目標＋個別目標）



≪目標達成状況≫

全体目標の平均目標達成率	74.6%
個別目標の平均目標達成率	104.8%
Ⅰ　まちづくり分野	93.7%
Ⅱ　ひとづくり分野	87.3%
Ⅲ　しごとづくり分野	85.2%
Ⅳ　ちいきづくり分野	91.3%
Ⅴ　行政分野	132.8%

※ 分野別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率が 74.6%、個別目標の平均目標達成率が 104.8%で概ね目標達成している状況といえますが、市民満足度調査の結果による指標を中心として低い傾向にあり、市民満足度の向上につながる取り組みを分かりやすく行政が推進していく必要があることがうかがえます。

「ひとづくり分野」、「しごとづくり分野」において、達成率が 90%に満たない状況となっており、今後のさらなる市民満足度の向上のためには、子育て支援、教育環境の充実、市内事業者支援を推進していく必要があることがうかがえます。

《市民満足度の変化の状況》

「第6次江南市総合計画基本計画」の改訂にあたり、前期基本計画で掲げた成果指標の測定及び後期基本計画における新たな成果指標の基準値を把握するとともに、今後のまちづくりに関する市民意向を調査するため、「第6次江南市総合計画後期基本計画に係る市民満足度調査」を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を示す指標 46 項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

前回調査とは

平成 28 年4月に実施した「第6次江南市総合計画に係る市民意向調査」をいいます。

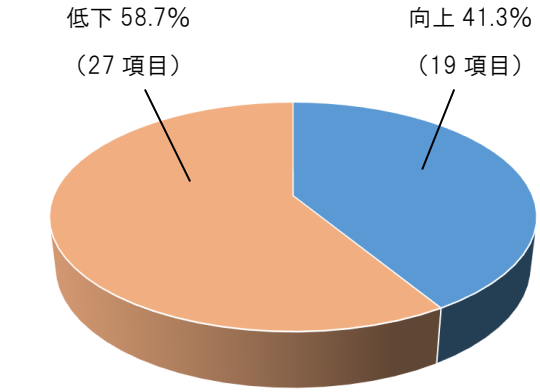
満足度とは

各設問について、5つの選択肢のうち上位の2つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。

満足度平均値とは

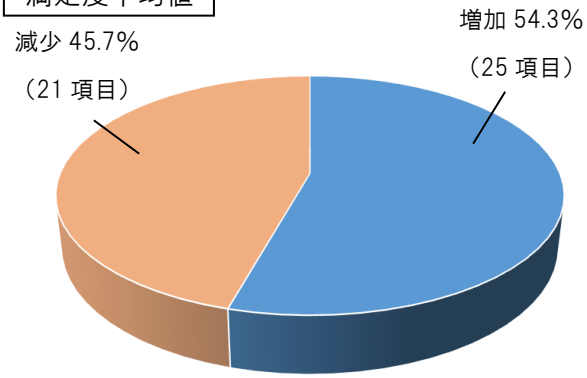
各設問について、5つの選択肢を2点、1点、0点、-1点、-2点とし、それぞれ回答数を乗じた数の計を総回答数で割った数字を満足度平均値としています。

満足度



- 約４割の指標で満足度が「向上」し、約６割の指標で満足度が「低下」しました。５分野すべてにおいて「向上」よりも「低下」となった指標が多いことから、全体として満足度向上へつながる取り組みを行政が推進していく必要があることがうかがえます。

満足度平均値



- ５割以上の指標で満足度平均値が「増加」し、５割未満の指標で満足度平均値が「減少」しました。江南市布袋駅東複合公共施設の整備に関係する「駅前・市街地の活性化」や「図書館の充実」の指標で 0.3 以上の増加となりました。減少については-0.1 から０の範囲で 15 項目を占めており、「良好な住宅環境」の-0.29 が最も減少した項目となりました。

2. 各分野の目標達成状況

Ⅰ　まちづくり分野

≪目標達成状況≫

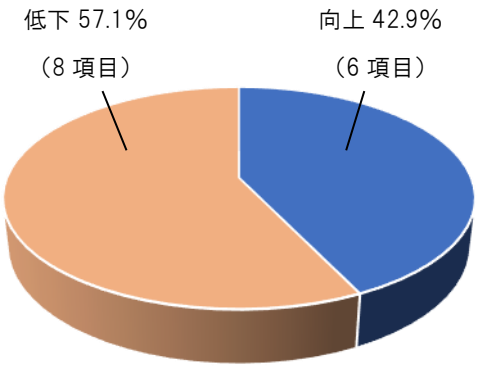
全体目標の平均目標達成率	80.5%
個別目標の平均目標達成率	97.2%
柱１　環境保全	92.7%
柱２　ごみ減量・処理	89.1%
柱３　市街地整備	98.0%
柱４　公園緑地	93.5%
柱５　道路	93.3%
柱６　住環境	87.5%
柱７　治水	78.5%
柱８　下水道	100.6%
柱９　上水道	100.0%

※ 柱別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率が 80.5%、個別目標の平均目標達成率が 97.2%で、概ね目標達成している状況といえます。

市街地、公園、道路などが整備され、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が形成されているといえます。「治水」については、80%に満たない達成状況であり、さらなる治水対策を推進する取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



●「市街地整備」、「道路」、「下水道」等に関する設問で満足度が向上し、「ごみ減量・処理」、「公園緑地」、「住環境」、「治水」、「上水道」等に関する設問で満足度が低下しました。

Ⅱ　ひとづくり分野

≪目標達成状況≫

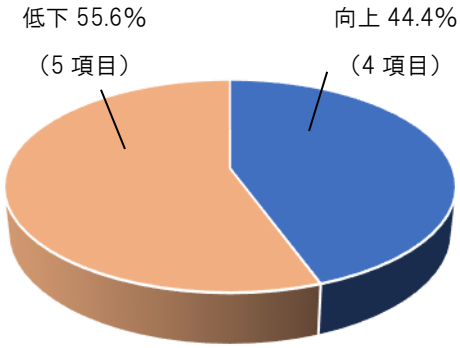
全体目標の平均目標達成率	84.4%
個別目標の平均目標達成率	87.7%
柱１　学校教育	99.1%
柱２　教育環境	70.1%
柱３　生涯学習	88.9%
柱４　文化・交流	76.0%
柱５　子育て	94.1%

※ 柱別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率が 84.4%、個別目標の平均目標達成率が 87.7%で、概ね目標達成している状況といえます。

学校給食など学校教育についての目標達成率が高い反面、不登校対策などの教育環境、芸術文化などの文化・交流の目標達成率が 80%に満たない達成状況であり、市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



●「学校教育」、「子育て」、「生涯学習」に関する設問において満足度が向上し、「教育環境」、「文化・交流」に関する設問で満足度が低下しました。

Ⅲ　しごとづくり分野

≪目標達成状況≫

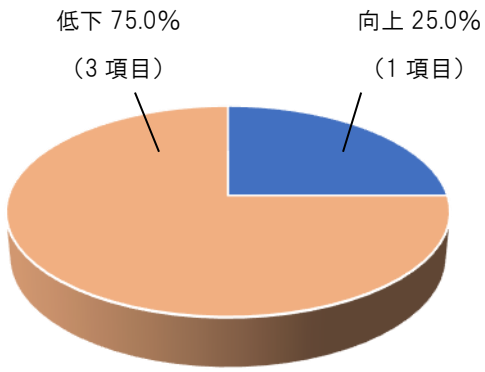
全体目標の平均目標達成率	87.2%
個別目標の平均目標達成率	83.9%
柱１　商工観光・雇用就労	77.1%
柱２　農業振興	97.4%

※ 柱別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率が 87.2%、個別目標の平均目標達成率が 83.9%で、概ね目標達成している状況といえます。

農業振興、雇用の面での目標達成率が高い反面、市の魅力発信、観光の面で目標達成率が低いことから市の魅力を積極的に発信し、観光客でにぎわうよう、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



●「商工観光・雇用就労」に関する設問のうち、「雇用」に関する項目で満足度が向上し、「商工観光・雇用就労」に関する設問のうち、「商店街」、「観光」に関する設問及び「農業振興」に関する設問で満足度が低下しました。

Ⅳ　ちいきづくり分野

≪目標達成状況≫

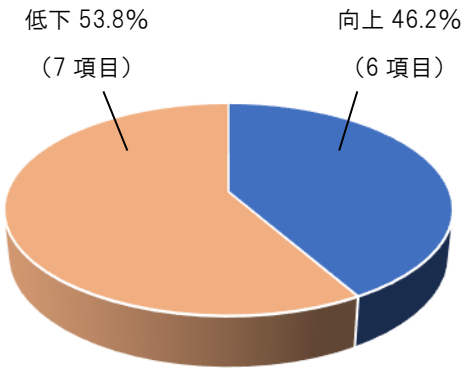
全体目標の平均目標達成率	72.8%
個別目標の平均目標達成率	94.7%
柱１　高齢者福祉	88.4%
柱２　障害者福祉	106.7%
柱３　生活支援・福祉活動	79.9%
柱４　健康づくり	83.0%
柱５　保険年金	95.1%
柱６　防災・交通安全・地域防犯	92.9%
柱７　消防・救急	95.5%

※ 柱別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率が 72.8%、個別目標の平均目標達成率が 94.7%で、概ね目標達成している状況といえます。

「障害者福祉」については、106.7%の目標達成率となっており、各種障害者福祉サービスの利用ニーズに対応ができていると考えられます。「生活支援・福祉活動」については、80%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



●「防災・交通安全・地域防災」、「消防・救急」に関する設問で満足度が向上し、「健康づくり」、「保険年金」に関する設問の満足度が低下しました。

Ⅴ　行政分野

≪目標達成状況≫

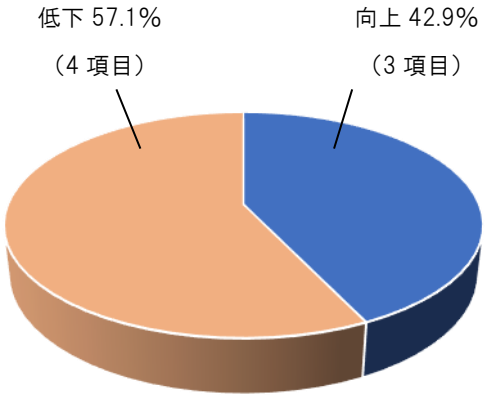
全体目標の平均目標達成率	57.5%
個別目標の平均目標達成率	153.9%
柱１　市民協働	96.5%
柱２　政策・人事	100.3%
柱３　市民生活	163.4%
柱４　男女共同参画	61.6%
柱５　行政経営	295.8%
柱６　課税・収納	79.5%
柱７　行政事務管理	102.1%
柱８　議会運営への支援	119.1%

※ 柱別の平均目標達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 57.5%、個別目標の平均目標達成率が 153.9%で、概ね目標達成している状況といえます。

限られた資源の選択と集中による行財政運営が行われるとともに、市民が気軽に相談できる窓口体制が充実しているものの、「男女共同参画」、「課税・収納」については、80%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



「市民生活」、「課税・収納」、「行政事務管理」に関する設問で、満足度が向上し、「市民協働」、「男女共同参画」、「行政経営」、「議会運営への支援」に関する設問で、満足度が低下しました。

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱1	快適な生活環境の維持 －　環境保全　－	経済環境部 環境課

全体目標　自然と調和した環境負荷の少ない生活環境が保全され、快適な生活を送っている

指標名	日ごろから、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入などにより、環境に配慮して生活している市民の割合			
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	57.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から7.1%減少し30.7%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大により、市民の意識の高揚を図るための環境啓発活動が制限され、十分な周知を図ることができなかった結果と考えられる。
実績値	37.8		30.7	
達成率 (達成状況)		%	53.9 ☂	

指標名	水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合			
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	60.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.3%増加し57.9%となった。 持続可能で快適な生活環境を保全するため、公害問題が発生したときの問題解決にあたり、迅速かつ適切な対応を行った結果と考えられる。
実績値	57.6		57.9	
達成率 (達成状況)		%	96.5 ☀	

個別目標 ①　環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

指標名	環境保全活動を行っている市民の割合							
	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	52.0
実績値	47.2		－	－	－	－	－	41.7
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	80.2 ☁

指標名	市民１人当たりの二酸化炭素排出量							
	H27 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	t-co2/人.年	5.40	5.30	5.19	5.19	4.99	4.89
実績値	5.70		5.10	4.90	4.80	4.50	4.30	4.30
達成率 (達成状況)		%	105.9 ☀	108.2 ☀	108.1 ☀	115.3 ☀	116.0 ☀	113.7 ☀

個別目標 ②	良好な生活環境が創出され、公害・苦情の少ない快適な生活を送っている							
指標名	公害苦情件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	311	286	261	221	202	182
実績値	361		371	453	375	304	269	429
達成率（達成状況）		%	83.8	63.1	69.6	72.7	75.1	42.4
指標名	河川水質に係るBOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準の達成割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	50.0	50.0	57.1	60.7	62.5	64.3
実績値	50.0		71.4	35.7	35.7	35.7	92.9	78.6
達成率（達成状況）		%	142.8	71.4	62.5	58.8	148.6	122.2
指標名	大気中の窒素酸化物の量							
	H27（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	ppm	→	→	→	→	→	→
実績値	0.021		0.020	0.020	0.018	0.017	0.015	0.015
達成率（達成状況）		%	105.0	105.0	116.7	123.5	140.0	140.0

I	まちづくり分野	R6担当部・課
柱2	限られた資源の活用 － ごみ減量・処理 －	経済環境部 環境課

全体目標	ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている			
指標名	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	65.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から7.4%減少し53.3%となった。 高齢化の進展及び共働き世帯の増加により、ごみの分別排出の負担感が大きくなってきていることが考えられる。
実績値	60.7		53.3	
達成率（達成状況）		%	82.0	

個別目標 ①	リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている							
指標名	市民１人１日当たりの家庭系可燃ごみ排出量							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	g	394	394	393	393	392	392
実績値	395		390	393	394	390	391	377
達成率（達成状況）		%	101.0 ☀	100.3 ☀	100.0 ☀	100.8 ☀	100.3 ☀	104.0 ☀
指標名	１事業所１年当たりの事業系可燃ごみ排出量							
	H27（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	t	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
実績値	7.6		6.7	6.8	6.2	6.0	5.7	5.5
達成率（達成状況）		%	110.4 ☀	108.8 ☀	119.4 ☀	125.0 ☀	129.8 ☀	134.5 ☀
指標名	リサイクル率							
	H27（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	25.2
実績値	27.0		25.5	25.4	25.2	24.2	24.0	23.9
達成率（達成状況）		%	94.4 ☀	94.1 ☀	93.3 ☀	89.6 ☁	88.9 ☁	94.8 ☀
個別目標 ②	ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている							
指標名	特定家庭用機器などの不法投棄台数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	台	10	10	10	10	10	10
実績値	10		13	39	21	36	28	38
達成率（達成状況）		%	76.9 ☁	25.6 ☂	47.6 ☂	27.8 ☂	35.7 ☂	26.3 ☂
指標名	ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	88.0
実績値	84.8		－	－	－	－	－	82.0
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	93.2 ☀

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱3	にぎわいあるまちづくりの推進 －　市街地整備　－	都市整備部 都市計画課 都市整備課

全体目標　秩序ある都市計画により、美しくにぎわいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	33.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から4.0%増加し26.0%となった。秩序あるまちなみの形成と持続可能な都市づくりを推進するため、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、布袋駅周辺において鉄道高架及び関連する都市基盤整備を進めたことにより一定の成果が得られたものの目標を達成することはできなかった。
実績値	22.0		26.0	
達成率（達成状況）		%	78.8 ☁	

個別目標 ①　魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民でにぎわっている

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	20.0
実績値	11.3		－	－	－	－	－	24.2
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	121.0 ☀

指標名	江南駅・布袋駅の１日当たりの乗降客数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	35,900	36,000	36,100	36,200	36,300	36,400
実績値	35,700		36,037	35,757	28,277	29,547	31,471	33,320
達成率（達成状況）		%	100.4 ☀	99.3 ☀	78.3 ☁	81.6 ☁	86.7 ☁	91.5 ☀

指標名	布袋南部土地区画整理事業の進捗率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	96.7	97.0	96.7	96.8	99.1	98.8
実績値	96.5		96.6	96.6	96.0	96.8	98.4	99.2
達成率（達成状況）		%	99.9 ☀	99.6 ☀	99.3 ☀	100.0 ☀	99.3 ☀	100.4 ☀

個別目標 ②	市民の足が確保できている							
指標名	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	22.0
実績値	16.9		－	－	－	－	－	20.1
達成率 （達成状況）		%	－	－	－	－	－	91.4 ☀
指標名	公共交通に関する評価の回数　＊							
	(基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	回	1	1	1	1	1	1
実績値	－		1	1	1	1	1	1
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
個別目標 ③	適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている							
指標名	市街化区域の面積　＊							
	R1 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	ha	－	－	736.6	736.6	736.6	736.6
実績値	736.6		－	－	736.6	736.6	736.6	736.6
達成率 （達成状況）		%	－	－	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	都市計画道路の整備率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	67.8	68.2	68.2	68.5	69.1	69.1
実績値	67.5		67.8	67.8	68.0	68.0	68.8	69.5
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	99.4 ☀	99.7 ☀	99.3 ☀	99.6 ☀	100.6 ☀

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱4	**生活にゆとりとうるおいを生む公園緑地推進 －　公園緑地　－**	都市整備部 都市計画課

全体目標　**公園等が整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている**

指標名	公園等が整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	37.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から5.5%減少し27.9%となった。 市民1人当たりの都市公園等面積は増加しているが全国平均と比べて低い水準であり、人口密度の高い市街地において公園面積が不足している状況や、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えたことによる影響が考えられる。
実績値	33.4		27.9	
達成率 （達成状況）		%	75.4 ☁	

個別目標 ①　**都市公園等が整備され、気軽に利用できる公園が身近にあると感じている**

指標名	市民１人当たりの都市公園面積							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	㎡	3.9	3.9	4.0	4.0	5.0	5.0
実績値	3.9		3.9	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	102.6 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

個別目標 ②　**都市緑化が推進され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている**

指標名	花いっぱい運動実施箇所数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	箇所	33	33	33	33	34	35
実績値	33		32	33	29	35	37	36
達成率 （達成状況）		%	97.0 ☀	100.0 ☀	87.9 ☁	106.1 ☀	108.8 ☀	102.9 ☀

個別目標 ③　**地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適正に利用されている**

指標名	地域で管理されている公園緑地等の数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	箇所	43	43	43	43	44	45
実績値	43		44	43	43	43	43	43
達成率 （達成状況）		%	102.3 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	97.7 ☀	95.6 ☀

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱5	生活を支える道路の整備と維持管理 － 道路 －	都市整備部 土木課

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され、人や車が安全に通行していると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	42.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から2.3%増加し30.0%となった。地元からの要望等に対して、生活道路を中心に対応することが出来たが、幹線道路においては、予算の都合上、舗装の劣化が進行していく速さに対応できていないことなどが目標値を下回った要因と考えられる。
実績値	27.7		30.0	
達成率（達成状況）		%	71.4	

個別目標 ① 道路等の財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	道路占用料等の収納率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.9		99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0
達成率（達成状況）		%	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0

個別目標 ② 道路施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名	側溝整備率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	67.6	67.8	68.0	68.2	68.4	68.6
実績値	67.1		67.6	68.0	68.2	68.3	68.5	68.6
達成率（達成状況）		%	100.0	100.3	100.3	100.1	100.1	100.0

指標名	舗装整備率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	92.8	92.9	92.9	93.0	93.0	93.1
実績値	92.7		93.6	94.2	94.3	94.4	94.6	94.8
達成率（達成状況）		%	100.9	101.4	101.5	101.5	101.7	101.8

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱6	安心して住み続けられる住環境の確保 －　住環境　－	都市整備部 建築課

全体目標　住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	57.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から14.5%減少し39.5%となった。 近年の大雨災害の影響や南海トラフ地震発生への不安、また、少子高齢化・人口減少の急速な進展に伴う老朽化した空家等の増加など、様々な要因により住環境への影響が懸念されることによるものと考えられる。
実績値	54.0		39.5	
達成率 （達成状況）		%	69.3	

個別目標 ①　住環境に関する民間組織と行政との協働による取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	民間での建築確認割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
実績値	99.0		99.4	99.5	97.6	99.0	99.0	99.0
達成率 （達成状況）		%	100.4	100.5	98.6	100.0	100.0	100.0

指標名	耐震診断の診断実施済棟数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	棟	2,700	2,800	2,900	3,000	3,250	3,500
実績値	2,580		2,648	2,681	2,704	2,754	2,804	2,852
達成率 （達成状況）		%	98.1	95.8	93.2	91.8	86.3	81.5

個別目標 ②　住民による施設運営への参加により適切に整備・維持管理された市営住宅が供給され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	市営住宅の入居割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0		100.0	100.0	100.0	99.3	99.3	99.3
達成率 （達成状況）		%	100.0	100.0	100.0	99.3	99.3	99.3

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱7	浸水被害のないまちづくりの推進 － 治水 －	水道部 下水道課

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている

指標名	河川等が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	60.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.6%減少し47.1%となった。 公共施設への雨水貯留施設整備や市民が担う雨水貯留浸透施設設置費補助金などの雨水流出抑制を実施してきたが、近年の気候変動による極端なゲリラ豪雨により、市民の不安が増大したことで目標値を下回ったと考えられる。
実績値	48.7		47.1	
達成率（達成状況）		%	78.5	

個別目標 ① 雨水流出抑制機能の強化と河川等の改修整備がされ、浸水被害が軽減している

指標名	雨水流出抑制施設整備率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	69.3
実績値	65.4		65.4	65.4	65.4	65.4	65.4	65.4
達成率（達成状況）		%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.4

指標名	雨水貯留浸透施設設置費補助金申請累計件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	1,390	1,530	1,490	1,840	2,010	2,190
実績値	1,132		1,218	1,246	1,281	1,314	1,343	1,373
達成率（達成状況）		%	87.6	81.4	86.0	71.4	66.8	62.7

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱8	公共下水道の普及促進 － 下水道 －	水道部 下水道課

全体目標 下水道が整備され、衛生的で快適な生活を送っている

指標名	下水道や浄化槽が整備され、衛生的で快適な生活を送っていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	49.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から7.3%増加し54.0%となった。 市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努めた結果と考えられる。
実績値	46.7		54.0	
達成率（達成状況）		%	110.2	

個別目標 ①	下水道使用料、受益者負担金の収納率及び接続人口の向上により、健全で安定した下水道事業が経営されている							
指標名	下水道使用料の収納率（現年度）							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	99.7		99.7	82.1	99.6	99.6	99.5	99.6
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	82.4 ☁	99.9 ☀	99.9 ☀	99.8 ☀	99.9 ☀
指標名	受益者負担金の収納率（現年度）							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	99.2		99.7	98.7	99.2	97.9	98.1	95.5
達成率 （達成状況）		%	100.5 ☀	99.5 ☀	100.0 ☀	98.7 ☀	98.9 ☀	96.3 ☀
指標名	下水道整備区域内の水洗化率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	72.7	69.1	72.2	74.8	77.8	80.4
実績値	69.6		66.3	69.1	70.2	71.5	74.6	75.7
達成率 （達成状況）		%	91.2 ☀	100.0 ☀	97.2 ☀	95.6 ☀	95.9 ☀	94.2 ☀

個別目標 ②	下水道が整備され、生活環境が向上している							
指標名	下水道普及率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	38.0	39.8	41.2	41.8	42.2	41.8
実績値	32.1		38.5	40.8	41.6	42.8	42.8	42.9
達成率 （達成状況）		%	101.3 ☀	102.5 ☀	101.0 ☀	102.4 ☀	101.4 ☀	102.6 ☀

Ⅰ	まちづくり分野	R6担当部・課
柱9	安全な水の安定供給 －　上水道　－	水道部 水道課

全体目標　健全な経営と水道施設の整備により、安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	85.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から5.3%減少し75.9%となった。 平成28年度から令和5年度の間に大規模な断水や水質事故は発生しておらず、安定供給はできているため、江南市の水道水が安全であることをアピールする必要があると考えられる。
実績値	81.2		75.9	
達成率 （達成状況）		%	89.3 ☁	

個別目標 ①　水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収入率（現年度）							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	99.7		99.7	99.6	99.6	99.6	99.6	99.8
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	99.9 ☀	99.9 ☀	99.9 ☀	99.9 ☀	100.1 ☀

指標名	総収支比率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	102.2		95.6	95.6	106.3	113.5	108.8	111.1
達成率 （達成状況）		%	95.6 ☀	95.6 ☀	106.3 ☀	113.5 ☀	108.8 ☀	111.1 ☀

個別目標 ②　水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名	管路耐震適合率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	53.2	54.4	55.6	56.9	58.0	59.4
実績値	50.9		54.0	55.1	56.4	57.5	58.5	59.4
達成率 （達成状況）		%	101.5 ☀	101.3 ☀	101.4 ☀	101.1 ☀	100.9 ☀	100.0 ☀

指標名	水質基準適合率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	有収率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	93.7	93.8	93.9	94.0	94.0	94.0
実績値	93.5		92.9	92.7	92.4	93.8	91.2	93.6
達成率（達成状況）		%	99.1 ☀	98.8 ☀	98.4 ☀	99.8 ☀	97.0 ☀	99.6 ☀

Ⅱ	ひとづくり分野	R6担当部・課
柱1	地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進 －　学校教育　－	教育部 教育課 学校給食課

全体目標　子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についている

指標名	子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	30.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から8.0%増加し28.0%となった。学校のホームページ等により学校での活動が誰でも知り得ることが出来、また、「地域とともにある学校づくり」を目指した学校運営協議会の活動などを通じて、児童・生徒の状況を身近に感じることができたことが増加した要因ではないかと考えられる。
実績値	20.0		28.0	
達成率（達成状況）		%	93.3 ☀	

個別目標 ①　児童・生徒が心身ともに健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	85.5	86.0	86.5	87.0	87.0	88.0
実績値	85.3		84.7	85.2	84.9	84.9	83.4	84.7
達成率（達成状況）		%	99.1 ☀	99.1 ☀	98.2 ☀	97.6 ☀	95.9 ☀	96.2 ☀
指標名	特別支援学級等支援職員配置人数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	20	20	20	20	20	20
実績値	19		21	23	26	29	32	34
達成率（達成状況）		%	105.0 ☀	115.0 ☀	130.0 ☀	145.0 ☀	160.0 ☀	170.0 ☀

個別目標 ②	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性が育まれている							
指標名	地域の人にあいさつする児童・生徒の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	84.5	85.0	85.5	87.0	87.5	88.0
実績値	83.9		84.9	83.8	83.1	83.8	81.6	82.3
達成率 (達成状況)		%	100.5 ☀	98.6 ☀	97.2 ☀	96.3 ☀	93.3 ☀	93.5 ☀
指標名	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	80.0	80.2	80.4	80.6	80.8	81.0
実績値	79.8		78.6	77.3	73.9	72.1	68.7	70.8
達成率 (達成状況)		%	98.2 ☀	96.4 ☀	91.9 ☀	89.5 ☁	85.0 ☁	87.4 ☁
指標名	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	事業所	300	305	310	313	316	320
実績値	298		291	277	0	0	0	268
達成率 (達成状況)		%	97.0 ☀	90.8 ☀	0.0 ☂	0.0 ☂	0.0 ☂	83.8 ☁
個別目標 ③	バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている							
指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	90.8	91.2	91.5	91.8	92.2	92.5
実績値	90.2		89.2	87.5	89.4	90.5	90.1	91.1
達成率 (達成状況)		%	98.2 ☀	95.9 ☀	97.7 ☀	98.6 ☀	97.7 ☀	98.5 ☀
指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	82.7	83.0	83.3	83.5	83.8	84.0
実績値	82.3		78.4	77.0	78.0	79.5	77.4	81.5
達成率 (達成状況)		%	94.8 ☀	92.8 ☀	93.6 ☀	95.2 ☀	92.4 ☀	97.0 ☀

指標名	登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【小学校】							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	88.1	88.5	88.9	89.3	89.6	90.0
実績値	87.4		85.7	85.5	86.9	85.9	84.9	85.4
達成率 (達成状況)		%	97.3 ☀	96.6 ☀	97.8 ☀	96.2 ☀	94.8 ☀	94.9 ☀
指標名	登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【中学校】							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	84.5	85.1	85.5	86.0	86.5	87.0
実績値	83.6		81.4	82.1	81.6	78.5	78.9	78.9
達成率 (達成状況)		%	96.3 ☀	96.5 ☀	95.4 ☀	91.3 ☀	91.2 ☀	90.7 ☀
指標名	学校給食における地場産物の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	36.4	37.3	39.5	39.6	39.8	40.0
実績値	35.2		39.1	39.4	41.5	44.6	39.9	39.9
達成率 (達成状況)		%	107.4 ☀	105.6 ☀	105.1 ☀	112.6 ☀	100.3 ☀	99.8 ☀

個別目標 ④　教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	45.0
実績値	37.6		－	－	－	－	－	37.7
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	83.8 ☁
指標名	タブレット導入及び無線ＬＡＮの整備　＊							
	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	校	15	15	15	15	15	15
実績値	10		15	15	15	15	15	15
達成率 (達成状況)		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

Ⅱ	ひとづくり分野	R6担当部・課
柱2	心豊かな子どもの育成支援の推進 －　教育環境　－	教育部 教育課

全体目標　良好な教育環境が構築された社会の中で、子どもの健全な育成が図られている

指標名	子どもを取り巻く社会の教育環境が良好で、子どもが健全に育成されていると感じる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	68.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から4.4%減少し61.9%となった。 学校訪問や学校状況視察を実施し、学校や教育委員会委員からの意見等を基に教育環境を整え、児童・生徒の健全な育成を図っているが、市民として対応状況が分かりづらいことが減少した要因ではないかと考えられる。
実績値	66.3		61.9	
達成率 （達成状況）		%	91.0 ☀	

個別目標 ①　子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【小学校】							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	0.65	0.63	0.62	0.62	0.61	0.60
実績値	0.67		1.10	1.30	1.85	2.17	2.27	3.01
達成率 （達成状況）		%	59.1 ↗	48.5 ↗	33.5 ↗	28.6 ↗	26.9 ↗	19.9 ↗

指標名	不登校の児童・生徒数の割合【中学校】							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	4.70	4.50	4.30	4.20	4.10	4.00
実績値	4.78		4.70	4.90	4.97	5.80	8.39	9.74
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	91.8 ☀	86.5 ☁	72.4 ☁	48.9 ↗	41.1 ↗

指標名	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全な育成のために取り組んでいると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	58.0
実績値	56.0		－	－	－	－	－	49.6
達成率 （達成状況）		%	－	－	－	－	－	85.5 ☁

個別目標 ②	教育委員会と市長との連携により、子どもの教育環境が整っている							
指標名	子どもの教育環境が整っていると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	65.0
実績値	63.2		－	－	－	－	－	54.1
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	83.2 ☁
指標名	総合教育会議開催回数　＊							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	回	1	1	1	1	1	1
実績値	1		1	1	1	1	1	1
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

Ⅱ 柱3	ひとづくり分野 **生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備** **－　生涯学習　－**	R6担当部・課 教育部 生涯学習課 スポーツ推進課

全体目標	市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている			
指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	20.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から6.3%減少し11.8%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止した事業やサークル活動がいまだ再開されていないものもあり、活動機会が減少していることが影響していると考えられる。
実績値	18.1		11.8	
達成率（達成状況）		%	59.0 ☂	

個別目標 ①	市民が、様々な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている							
指標名	愛知江南短期大学と連携した事業の参加者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	1,390	1,410	1,400	1,420	1,450	－
実績値	1,371		1,391	1,356	250	679	971	－
達成率（達成状況）		%	100.1 ☀	96.2 ☀	17.9 ☂	47.8 ☂	67.0 ☂	－

指標名	１人当たりの図書等の貸出点数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	冊	4.1	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5
実績値	4.0		4.1	3.7	2.3	3.0	2.6	6.0
達成率 （達成状況）		%	100.0	88.1	53.5	68.2	59.1	133.3
指標名	公民館の利用者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	70,900	71,000	71,000	71,300	71,400	71,500
実績値	70,824		88,357	80,207	29,639	38,248	70,726	79,758
達成率 （達成状況）		%	124.6	113.0	41.7	53.6	99.1	111.5
個別目標 ②	市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる							
指標名	屋内のスポーツ施設の稼働率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	87.5	87.5	87.5	87.5	87.9	88.0
実績値	87.3		91.3	91.6	87.9	90.6	93.6	93.5
達成率 （達成状況）		%	104.3	104.7	100.5	103.5	106.5	106.2
指標名	屋外のスポーツ施設の稼働率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	65.5	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0
実績値	64.5		49.6	48.9	42.9	47.5	48.0	42.2
達成率 （達成状況）		%	75.7	74.1	64.5	70.9	71.1	62.1
指標名	コミュニティ・スポーツ祭の参加者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	6,640	6,680	6,720	6,760	6,800	6,840
実績値	6,560		6,486	6,371	0	0	0	4,189
達成率 （達成状況）		%	97.7	95.4	0.0	0.0	0.0	61.2

Ⅱ	ひとづくり分野	R6担当部・課
柱4	地域の特色を活かした芸術・文化・交流の推進 －　文化・交流　－	教育部 生涯学習課

全体目標　**市民の芸術文化活動や在住外国人との交流が活発に行われている**

指標名	芸術文化活動や地域に住む外国人との交流が、市民レベルで活発に行われていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	8.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.5%増加し7.9%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、芸術文化活動や外国人と交流する機会が制限される期間もあったが、継続的に活動を続けてきた結果が増加につながったと考えられる。
実績値	6.4		7.9	
達成率（達成状況）		%	98.8 ☀	

個別目標 ①　**市民が芸術文化活動を積極的に行っている**

指標名	市民文化会館の稼働率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	55.5	56.0	55.5	56.0	57.0	58.0
実績値	55.2		52.0	51.0	29.0	40.9	52.6	53.2
達成率（達成状況）		%	93.7 ☀	91.1 ☀	52.3 🌂	73.0 ☁	92.3 ☀	91.7 ☀

指標名	芸術文化事業への参加者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	18,000	18,500	18,400	18,950	19,500	20,000
実績値	17,795		19,863	13,783	2,492	6,079	9,495	11,424
達成率（達成状況）		%	110.4 ☀	74.5 ☁	13.5 🌂	32.1 🌂	48.7 🌂	57.1 🌂

指標名	美術展出品者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	242	244	242	245	248	250
実績値	239		225	220	221	205	220	206
達成率（達成状況）		%	93.0 ☀	90.2 ☀	91.3 ☀	83.7 ☁	88.7 ☁	82.4 ☁

個別目標 ②	郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する誇りや愛着をもっている							
指標名	指定・登録文化財の数【国指定】							
	H28（基準値）	**単位**	**H30**	**R1**	**R2**	**R3**	**R4**	**R5**
目標値	－	件	5	5	5	5	5	5
実績値	5		5	5	5	5	5	5
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	指定・登録文化財の数【県指定】							
	H28（基準値）	**単位**	**H30**	**R1**	**R2**	**R3**	**R4**	**R5**
目標値	－	件	9	9	9	9	9	9
実績値	9		9	9	9	9	9	9
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	指定・登録文化財の数【市指定】							
	H28（基準値）	**単位**	**H30**	**R1**	**R2**	**R3**	**R4**	**R5**
目標値	－	件	95	95	94	94	94	96
実績値	95		94	94	94	94	94	94
達成率（達成状況）		%	98.9 ☀	98.9 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	97.9 ☀
指標名	指定・登録文化財の数【国登録】							
	H28（基準値）	**単位**	**H30**	**R1**	**R2**	**R3**	**R4**	**R5**
目標値	－	件	4	4	4	4	4	4
実績値	3		4	4	4	4	4	4
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	文化財普及事業への参加者数							
	H28（基準値）	**単位**	**H30**	**R1**	**R2**	**R3**	**R4**	**R5**
目標値	－	人	9,450	9,400	9,450	9,500	9,550	9,600
実績値	9,345		8,014	10,370	3,665	5,241	6,358	5,288
達成率（達成状況）		%	84.8 ☁	110.3 ☀	38.8 ☂	55.2 ☂	66.6 ☂	55.1 ☂

個別目標 ③	多文化共生社会が進展し、世界平和の重要性が認識されている							
指標名	江南市国際交流協会の事業（多文化共生事業）に参加する外国人の数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	880	880	870	880	890	900
実績値	869		738	865	681	685	608	473
達成率（達成状況）		%	83.9	98.3	78.3	77.8	68.3	52.6
指標名	江南市国際交流協会の事業（多文化共生事業）に参加する日本人の数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	5,950	6,000	6,050	6,100	6,150	6,200
実績値	5,915		5,664	5,266	2,365	2,401	2,614	3,085
達成率（達成状況）		%	95.2	87.8	39.1	39.4	42.5	49.8
指標名	世界平和を願うパネル展の来場者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	1,360	1,360	1,370	1,380	1,390	1,400
実績値	1,350		875	744	347	337	528	373
達成率（達成状況）		%	64.3	54.7	25.3	24.4	38.0	26.6

Ⅱ	ひとづくり分野	R6担当部・課
柱5	地域が支える子育て支援の推進 － 子育て －	健康こども部 こども未来課 子育て支援課

全体目標	地域を含めた子育て支援により、楽しく、安心して子育てしている			
指標名	保育サービスが充実しており、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	30.0	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化により、3歳以上児の保育料の無償化と、幼稚園や認可外保育施設の利用児童に対する給付が拡大され、保護者負担の軽減が図られた。一方、保育士不足が課題となっており、3歳未満児においては、年度途中には待機児童が発生するなどの要因が影響した結果と考えられる。
実績値	23.2		23.3	
達成率（達成状況）		%	77.7	

指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合			
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	25.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.4%減少し21.7%となった。学童保育においては、学童保育所の整備を行い、利用対象学年を4年生から6年生に拡大したが、待機児童が解消していない状況が結果に影響したと考えられる。 また児童1人当たりの子育て支援センターや児童館活動の参加回数が目標値に届いていない状況から、サービス内容が子育て家庭のニーズに応えられていない可能性がある。
実績値	22.1		21.7	
達成率 (達成状況)		%	86.8 ☁	

個別目標 ①　働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている

指標名	地域子ども・子育て支援事業の実施件数　＊							
	H30 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	－	9	10	11	11	11
実績値	9		－	10	10	11	11	11
達成率 (達成状況)		%	－	111.1 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

指標名	保育所入所申込者のうち、入所できた児童数の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.7		99.1	98.8	98.7	99.0	99.0	98.7
達成率 (達成状況)		%	99.1 ☀	98.8 ☀	98.7 ☀	99.0 ☀	99.0 ☀	98.7 ☀

個別目標 ②　子育て不安が解消でき、楽しく育児ができている

指標名	対象児童１人当たりの子育て支援センター（子育てサロン）利用回数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	回/人	10.3	10.3	10.4	10.4	10.4	10.5
実績値	10.2		10.1	8.8	4.3	5.1	5.5	6.7
達成率 (達成状況)		%	98.1 ☀	85.4 ☁	41.3 ☂	49.0 ☂	52.9 ☂	63.8 ☂

指標名	ファミリー・サポート・センター援助員数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	100	115	115	118	118	120
実績値	97		111	104	88	96	96	90
達成率 (達成状況)		%	111.0 ☀	90.4 ☀	76.5 ☁	81.4 ☁	81.4 ☁	75.0 ☁

指標名	家庭児童相談等件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	2,815		2,787	2,428	2,175	2,177	2,736	3,527
達成率 （達成状況）		%	99.0	86.3 	77.3 	77.3 	97.2 	125.3 

個別目標 ③　支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている

指標名	ひとり親家庭への就労教育支援件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	8	8	9	9	9	10
実績値	7		8	6	7	10	10	12
達成率 （達成状況）		%	100.0 	75.0 	77.8 	111.1 	111.1 	120.0 

個別目標 ④　異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名	学童保育の利用対象学年							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	学年	4	4	4	6	6	6
実績値	4		4	4	4	6	6	6
達成率 （達成状況）		%	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 
指標名	放課後子ども教室数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	校	7	7	7	7	7	7
実績値	6		7	8	8	9	10	10
達成率 （達成状況）		%	100.0 	114.3 	114.3 	128.6 	142.9 	142.9 
指標名	対象児童１人当たりの児童館活動参加回数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	回/人	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
実績値	8.9		8.9	8.2	2.6	2.4	3.1	4.0
達成率 （達成状況）		%	98.9 	91.1 	28.9 	26.7 	34.4 	44.4 

Ⅲ	しごとづくり分野	R6担当部・課
柱1	地域の雇用を支える産業の育成支援 －　商工観光・雇用就労　－	経済環境部 商工観光課 企業誘致推進課

全体目標　多くの観光客が訪れ、地域経済が活性化し、地域に雇用の場が確保され、にぎわいと活力あふれる、住みよいまちとなっている

指標名	市内に魅力ある商業施設があり、市外へ出ることなく買い物できると感じる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	63.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から4.4%減少し55.1%となった。 郊外型の大型店に加え、市街地周辺には様々な小売店が立地しており、一定の満足度は得られていると考えられる。
実績値	59.5		55.1	
達成率（達成状況）		%	87.5 ☁	

指標名	地場産業を中心に産業が活性化し、地元での雇用の場が確保されていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	7.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から4.1%増加し7.6%となった。 市内には大規模事業者が少なく中小企業等が大半を占めているが、雇用情勢は持ち直しの動きが広がりつつある。 また、安良区域への企業誘致の成果が表れてきたことも要因と考えられる。
実績値	3.5		7.6	
達成率（達成状況）		%	108.6 ☀	

指標名	江南市の魅力を広く発信し、多くの観光客でにぎわっていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	10.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.8%減少し6.0%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和4年度にかけてこうなん藤まつりが中止になるなど、市内を訪れる観光客が減少したことが一因と考えられる。
実績値	7.8		6.0	
達成率（達成状況）		%	60.0 ☂	

個別目標 ①　商工業の振興により、活気のある地域社会となっている

指標名	中小企業支援策が十分であると回答した事業所の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
実績値	2.0		5.3	6.0	5.3	8.6	6.1	6.3
達成率（達成状況）		%	53.0 ☂	54.5 ☂	44.2 ☂	66.2 ☂	43.6 ☂	42.0 ☂

個別目標 ②	地域に雇用の場が確保され、生き生きと働いている							
指標名	ハローワーク犬山管内の有効求人倍率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	倍	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
実績値	1.08		1.58	1.48	0.92	1.05	1.17	0.94
達成率（達成状況）		%	63.3	67.6	92.0	95.2	85.5	94.0

個別目標 ③	市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している							
指標名	観光客数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	1,825,000	1,840,000	1,855,000	1,870,000	1,885,000	1,900,000
実績値	1,805,038		1,475,721	1,577,402	927,645	925,937	988,919	1,341,807
達成率（達成状況）		%	80.9	85.7	50.0	49.5	52.5	70.6

Ⅲ	しごとづくり分野	R6担当部・課
柱2	農業の安定経営と農業施設管理 －　農業振興　－	経済環境部 農政課

全体目標	効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている			
指標名	効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	18.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.8%減少し16.7%となった。 野菜指定産地として指定を受けているねぎ、大根などの農作物の収穫量が年々減少しており、農業従事者の高齢化や担い手不足などが要因と考えられる。
実績値	17.5		16.7	
達成率（達成状況）		%	92.8	

個別目標 ①	農業従事者の経営が安定し、農地や農業用施設が適正に保全され、農地が有効活用されている							
指標名	認定農業者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	30	30	30	30	30	30
実績値	30		20	20	21	21	22	24
達成率（達成状況）		%	66.7	66.7	70.0	70.0	73.3	80.0

指標名	担い手への農地の利用集積面積							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	ha	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
実績値	8.2		16.4	18.2	18.1	19.9	19.5	17.9
達成率（達成状況）		%	164.0 ☀	165.5 ☀	150.8 ☀	153.1 ☀	139.3 ☀	119.3 ☀
指標名	市民菜園の面積							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	㎡	40,484	40,484	40,484	40,484	40,484	40,484
実績値	40,484		40,484	40,484	39,680	39,664	39,440	39,440
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	98.0 ☀	98.0 ☀	97.4 ☀	97.4 ☀

Ⅳ	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱1	地域に住み続けられる支援の推進 － 高齢者福祉 －	ふくし部 地域ふくし課 介護保険課

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	20.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から3.3%増加し22.5%となった。 高齢者が生きがいをもち、自立して暮らしていけるよう、介護予防の取り組みを実施するとともに、地域での取り組みを支援したことで、市民へ介護予防の意識向上につながった。
実績値	19.2		22.5	
達成率（達成状況）		%	112.5 ☀	

個別目標 ① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める健康を保って暮らしている高齢者の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6
実績値	86.6		85.9	85.4	85.1	84.8	84.4	83.9
達成率（達成状況）		%	99.2 ☀	98.6 ☀	98.3 ☀	97.9 ☀	97.5 ☀	96.9 ☀

個別目標 ②	高齢者が在宅で安心して暮らしている							
指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	23.0
実績値	16.6		－	－	－	－	－	15.0
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	65.2
指標名	要介護認定の居宅サービス利用者の割合　＊							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	62.8	62.8	62.8	64.9	64.9	64.9
実績値	62.8		62.6	64.9	63.6	65.1	66.8	67.2
達成率（達成状況）		%	99.7	103.3	101.3	100.3	102.9	103.5

個別目標 ③	高齢者が生きがいをもって充実した生活を送っている							
指標名	社会参加している高齢者の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	34.1	－	－	36.0
実績値	34.1		－	－	22.3	－	－	23.6
達成率（達成状況）		%	－	－	65.4	－	－	65.6
指標名	地域活動に参加している高齢者の割合　＊							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	28.7	28.7	28.7	47.2	47.2	47.2
実績値	28.7		47.1	47.2	47.3	46.8	44.5	40.9
達成率（達成状況）		%	164.1	164.5	164.8	99.2	94.3	86.7

Ⅳ	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱2	**障害者が生き生きと暮らせる支援の推進** **－　障害者福祉　－**	ふくし部 地域ふくし課 ふくし支援課 健康こども部 こども未来課

全体目標　**障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている**

指標名	障害のある人が地域で生き生きと生活していると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	40.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.8%減少し19.5%となった。 共生社会を実現するための、障害者の社会参加の機会の確保が課題となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大による活動機会の減少も影響した結果と考える。
実績値	21.3		19.5	
達成率（達成状況）		%	48.8	

指標名	障害のある人にとって相談支援体制が整っていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	40.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.8%増加し19.2%となった。 基幹相談支援センターをはじめ、障害のある人への相談支援体制は充実化してしてきており、当事者からの認知度は高まっている。しかしながら、障害がない市民にとっては自身に直接関係ないことから、認知度が高くないことが考えられる。
実績値	18.4		19.2	
達成率（達成状況）		%	48.0	

個別目標 ①　**地域での福祉活動が行われ、障害者などが住み慣れた家庭や地域で安心・安全に生活している**

指標名	基幹相談支援センターへの相談件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	1,420	1,435	1,460	1,475	1,490	1,500
実績値	1,409		1,331	1,361	1,438	1,061	1,376	1,347
達成率（達成状況）		%	93.7	94.8	98.5	71.9	92.3	89.8

指標名	成年後見制度利用支援件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	2	3	5	7	9	10
実績値	1		2	2	2	1	1	0
達成率（達成状況）		%	100.0	66.7	40.0	14.3	11.1	0.0

個別目標 ②	障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている							
指標名	就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	185	187	190	193	196	200
実績値	182		221	235	245	264	287	326
達成率（達成状況）		%	119.5 ☀	125.7 ☀	128.9 ☀	136.8 ☀	146.4 ☀	163.0 ☀
指標名	共同生活援助（グループホーム）の利用人数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	46	49	51	54	57	60
実績値	44		56	68	75	83	89	104
達成率（達成状況）		%	121.7 ☀	138.8 ☀	147.1 ☀	153.7 ☀	156.1 ☀	173.3 ☀

個別目標 ③	障害児が療育支援や発達支援を受け、社会的に自立することができている							
指標名	通所支援サービス（児童発達支援など）の利用人数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	214	215	216	217	218	220
実績値	213		266	282	312	381	445	523
達成率（達成状況）		%	124.3 ☀	131.2 ☀	144.4 ☀	175.6 ☀	204.1 ☀	223.7 ☀

Ⅳ 柱3	ちいきづくり分野 **地域で支えあう生活支援のための体制の確保** **－ 生活支援・福祉活動 －**	R6担当部・課 ふくし部 地域ふくし課 ふくし支援課

全体目標	行政と社会福祉団体や民生委員が有機的に連携し、生活困窮者などの支援を行っている			
指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	30.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から1.4%減少し26.1%となった。 高齢者・障害者・子ども子育て・生活困窮など、各福祉分野における福祉サービスは充実してきているが、福祉サービスを必要としていない市民には自身は利用することがないことから、認知度が高くないことが考えられる。
実績値	27.5		26.1	
達成率（達成状況）		%	87.0 ☁	

個別目標 ①	被災者や生活困窮者などが支援を受け、自立している							
指標名	保護の廃止世帯数（死亡を除く）							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	30	30	30	30	30	30
実績値	28		38	56	38	31	26	30
達成率（達成状況）		%	126.7 ☀	186.7 ☀	126.7 ☀	103.3 ☀	86.7 ☁	100.0 ☀

個別目標 ②	生活保護世帯の生徒が学習支援を受け、確実に高校に進学している							
指標名	生活保護世帯の高校進学率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	0.0 ☂

個別目標 ③	社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている							
指標名	社会福祉関係の団体数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	団体	15	15	16	17	17	18
実績値	14		14	14	13	12	12	14
達成率（達成状況）		%	93.3 ☀	93.3 ☀	81.2 ☁	70.6 ☁	70.6 ☁	77.8 ☁
指標名	社会福祉関係の参加人数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	190	200	210	220	220	250
実績値	184		177	154	165	152	164	268
達成率（達成状況）		%	93.2 ☀	77.0 ☁	78.6 ☁	69.1 ☂	74.5 ☁	107.2 ☀

個別目標 ④	生活困窮者や高齢者などは、民生委員などの支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている							
指標名	民生委員が相談を受け、支援した件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	2,450	2,480	2,510	2,540	2,540	2,600
実績値	2,447		1,877	2,139	1,207	2,209	2,507	2,789
達成率（達成状況）		%	76.6 ☁	86.2 ☁	48.1 ☂	87.0 ☁	98.7 ☀	107.3 ☀

Ⅳ	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱4	誰もが活躍できる健康な生活の確保 －　健康づくり　－	健康こども部 健康づくり課

全体目標　自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組んでいる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	80.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から31.7%減少し37.4%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大や気候変動の影響による熱中症対策のため、市民の外出機会が制限され、スポーツ等の身体活動が減少したことが影響したと考えられる。
実績値	69.1		37.4	
達成率（達成状況）		%	46.8	

個別目標 ①　自らが疾病予防に取り組んでいる

指標名	肺がん検診精密検査受診率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	73.9	74.8	75.6	76.8	77.9	79.0
実績値	73.1		88.5	82.5	84.8	88.5	79.8	84.4
達成率（達成状況）		%	119.8	110.3	112.2	115.2	102.4	106.8

指標名	大腸がん検診精密検査受診率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	75.5	75.9	76.3	76.9	77.5	78.0
実績値	75.1		74.2	72.0	77.0	79.6	78.0	83.9
達成率（達成状況）		%	98.3	94.9	100.9	103.5	100.6	107.6

指標名	こうなん健康マイレージ優待カード交換者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	440	510	570	620	660	690
実績値	269		342	311	246	191	249	300
達成率（達成状況）		%	77.7	61.0	43.2	30.8	37.7	43.5

個別目標 ②	必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している							
指標名	予防接種（高齢者のインフルエンザ）接種率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	58.0	58.4	58.8	60.0	59.6	60.0
実績値	57.2		55.2	58.1	71.1	65.1	70.3	63.7
達成率（達成状況）		%	95.2 ☀	99.5 ☀	120.9 ☀	108.5 ☀	118.0 ☀	106.2 ☀
指標名	予防接種（高齢者用肺炎球菌）接種率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	52.0	52.3	52.8	53.0	53.3	53.6
実績値	51.7		48.3	49.0	31.0	26.5	24.2	24.1
達成率（達成状況）		%	92.9 ☀	93.7 ☀	58.7 🌂	50.0 🌂	45.4 🌂	45.0 🌂
個別目標 ③	母子が健康保持に積極的に取り組み、母子ともに健康に暮らしている							
指標名	乳児家庭全戸訪問の実施率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	95.2		95.0	96.8	85.9	92.5	95.8	99.1
達成率（達成状況）		%	99.8 ☀	101.7 ☀	90.2 ☀	97.2 ☀	100.6 ☀	104.1 ☀
指標名	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合　＊							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	86.1	90.0	91.3	92.5	93.9
実績値	82.5		－	91.1	83.9	79.7	84.4	78.3
達成率（達成状況）		%	－	105.8 ☀	93.2 ☀	87.3 ☁	91.2 ☀	83.4 ☁
個別目標 ④	市民が安心して医療を受けている							
指標名	かかりつけ医をもっている市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	↑
実績値	70.4		－	－	－	－	－	69.9
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	99.3 ☀

指標名	病院などの医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	71.0
実績値	69.1		－	－	－	－	－	56.4
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	79.4

指標名	休日急病診療所受診数（インフルエンザを除く）　＊							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値	2,033		2,079	2,379	595	677	1,300	1,810
達成率（達成状況）		%	104.0	119.0	29.8	33.9	65.0	90.5

Ⅳ	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱5	保険年金制度の健全な運営 －　保険年金　－	ふくし部 保険年金課

全体目標　保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	65.0	医療分野においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、国および世界全体で適切な治療や予防に対する体制確保に苦慮した期間を経験したこともあり、心因的に安心して暮らしていると感じる割合がやや後退したものと推察する。また、年金分野については、年金給付の将来的な見通しについて、高齢者の増大により現在の制度が維持していけるかという不安を内包した結果と推察する。
実績値	58.8		55.2	
達成率（達成状況）		%	84.9	

個別目標 ①　被保険者の健康意識が向上し、医療保険制度の健全運営により市民が安心して暮らしている

指標名	特定健康診査受診率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	49.0	51.0	53.0	55.0	58.0	60.0
実績値	44.8		46.3	46.4	42.1	45.3	45.1	45.5
達成率（達成状況）		%	94.5	91.0	79.4	82.4	77.8	75.8

指標名	後発医薬品の使用割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	73.0	74.0	75.0	76.0	77.0	80.0
実績値	70.6		74.8	77.7	79.9	81.4	82.8	85.2
達成率 （達成状況）		%	102.5 ☀	105.0 ☀	106.5 ☀	107.1 ☀	107.5 ☀	106.5 ☀
指標名	後期高齢者健康診査受診率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	→	→	→	→	→	→
実績値	51.0		49.6	49.7	48.0	48.0	48.3	47.9
達成率 （達成状況）		%	97.2 ☀	97.5 ☀	94.1 ☀	94.1 ☀	94.7 ☀	93.9 ☀
個別目標 ②	国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている							
指標名	国民年金保険料納付率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	71.8		74.9	76.7	77.1	84.3	82.3	82.0
達成率 （達成状況）		%	104.3 ☀	106.8 ☀	107.4 ☀	117.4 ☀	114.6 ☀	114.2 ☀

Ⅳ	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱6	安心・安全な地域づくりの推進 －　防災・交通安全・地域防犯　－	危機管理室 防災安全課

全体目標	災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている			
指標名	災害や犯罪への不安が少ないと感じる市民の割合			
	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	65.0	防災訓練や資機材助成、防犯灯補助事業などの防犯施策の継続とともに、新たに特殊詐欺防止用電話機器購入費補助を行うなど安心・安全なまちづくりを推進したものの、能登半島地震の発生や南海トラフ巨大地震への懸念、また、全国的に凶悪犯罪の被害が深刻化していることから、実績値は目標を下回っている。
実績値	50.0		37.2	
達成率 （達成状況）		%	57.2 ☂	

個別目標 ①	災害への備えが行われている							
指標名	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	45.0
実績値	27.2		－	－	－	－	－	32.2
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	71.6 
指標名	防災用資機材助成の申請率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	83.4	89.8	90.5	91.2	91.9	92.6
実績値	79.7		81.2	78.3	70.0	81.2	77.0	76.8
達成率（達成状況）		%	97.4 	87.2 	77.3 	89.0 	83.8 	82.9 
指標名	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	H29（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	40.0
実績値	23.0		－	－	－	－	－	26.7
達成率（達成状況）		%	－	－	－	－	－	66.8 
個別目標 ②	交通安全施策と防犯施策の推進により、安心・安全な地域づくりができている							
指標名	交通事故発生件数（人身事故）							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	566	559	552	544	536	529
実績値	581		422	380	312	322	424	392
達成率（達成状況）		%	134.1 	147.1 	176.9 	168.9 	126.4 	134.9 
指標名	犯罪発生件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	797	787	776	765	754	743
実績値	819		668	668	418	417	476	511
達成率（達成状況）		%	119.3 	117.8 	185.6 	183.5 	158.4 	145.4 

指標名	地域安全パトロール実施率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	91.7	92.7	93.6	94.5	95.4	96.3
実績値	89.9		91.3	91.3	91.3	89.8	88.4	88.4
達成率（達成状況）		%	99.6 ☀	98.5 ☀	97.5 ☀	95.0 ☀	92.7 ☀	91.8 ☀

Ⅳ 柱7	ちいきづくり分野 **市民の安心を守る消防・救急体制の充実** **－ 消防・救急 －**	R6担当部・課 消防本部 消防総務課 消防予防課 消防署

全体目標 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている

指標名	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	48.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から3.0%増加し46.8%となった。 向上した要因は職団員が様々な形で消防・救急体制を外部発信している結果であると考えられる。未達の要因を分析すると、地域別に特段傾向は認められないが40歳代以下の世代で満足度が低調傾向である。
実績値	43.8		46.8	
達成率（達成状況）		%	97.5 ☀	

個別目標 ① 消防・救急体制が充実している

指標名	消防団員（水防団員）の充足率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.5		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.0
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	99.0 ☀

指標名	救急救命士運用者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	17	17	19	19	20	21
実績値	17		17	17	18	19	19	21
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	94.7 ☀	100.0 ☀	95.0 ☀	100.0 ☀

指標名	消防水利の充足率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	84.4	84.4	84.7	84.8	84.9	85.0
実績値	84.1		84.4	84.5	85.0	84.8	84.5	84.5
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	100.1 ☀	100.4 ☀	100.0 ☀	99.5 ☀	99.4 ☀

個別目標 ②　防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

指標名	防火管理者の選任率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	90.3	90.6	90.8	91.1	91.3	91.6
実績値	89.8		90.4	90.6	91.1	91.2	94.3	96.7
達成率 （達成状況）		%	100.1 ☀	100.0 ☀	100.3 ☀	100.1 ☀	103.3 ☀	105.6 ☀

指標名	優良危険物施設率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.7		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

指標名	住宅用火災警報器の設置率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	69.0	70.5	72.0	73.5	75.0	76.5
実績値	66.0		70.0	72.0	73.0	75.0	73.0	71.0
達成率 （達成状況）		%	101.4 ☀	102.1 ☀	101.4 ☀	102.0 ☀	97.3 ☀	92.8 ☀

個別目標 ③　救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

指標名	応急手当講習の受講者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	7,030	7,040	7,050	7,080	6,000	7,100
実績値	7,021		7,080	6,979	120	3,073	4,311	6,320
達成率 （達成状況）		%	100.7 ☀	99.1 ☀	1.7 ☂	43.4 ☂	71.9 ☁	89.0 ☁

指標名	処置範囲拡大救急救命士運用者数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	16	16	17	18	19	21
実績値	16		15	15	15	19	19	21
達成率（達成状況）		%	93.8 ☀	93.8 ☀	88.2 ☁	105.6 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀
指標名	心拍再開率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	46.7	46.8	46.9	46.9	46.9	47.0
実績値	46.7		40.5	43.5	25.9	27.0	26.1	33.8
達成率（達成状況）		%	86.7 ☁	92.9 ☀	55.2 ☂	57.6 ☂	55.7 ☂	71.9 ☁

V	行政分野	R6担当部・課
柱1	地域協働の推進 － 市民協働 －	経済環境部 商工観光課 企画部 秘書人事課 企画課

全体目標 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している

指標名	まちづくりの活動に参加している人の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	37.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から20.1%減少し13.1%となった。 市民活動団体では、会員の高齢化や次の担い手の不足が活動上の課題となっているとともに、新型コロナウイルス感染症拡大による活動機会の減少も影響した結果と考えられる。
実績値	33.2		13.1	
達成率（達成状況）		%	35.4 ☂	

個別目標 ① 市民と行政とが情報を共有し、市の魅力を市内外に広く発信している

指標名	ホームページのアクセス件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	810,205	844,761	880,791	918,358	957,528	998,000
実績値	806,248		953,295	1,070,837	2,488,647	2,560,143	1,834,938	1,739,218
達成率（達成状況）		%	117.7 ☀	126.8 ☀	282.5 ☀	278.8 ☀	191.6 ☀	174.3 ☀

個別目標 ②	市民が地域社会の担い手になっている							
指標名	地域コミュニティの団体数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	団体	553	566	571	576	581	586
実績値	502		488	487	471	464	445	467
達成率（達成状況）		%	88.2	86.0	82.5	80.6	76.6	79.7

V	行政分野	R6担当部・課
柱2	総合的な政策の推進と職員の人材育成 － 政策・人事 －	企画部 秘書人事課 企画課 健康こども部 健康づくり課

全体目標	実効性のある政策を立案し、限られた経営資源を選択・集中することで、市民の満足度が向上している			
指標名	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率			
	（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	100.0	計画期間全体の10年のうち6年間での達成率は74.6%であった。 達成に至っていない指標については、残された課題を明らかにし、残る期間で計画的かつ確実に対応できるよう、進めていくことが必要である。
実績値	－		74.6	
達成率（達成状況）		%	74.6	

指標名	市民意向（満足度）調査での市民満足度の平均値			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	点	0.10	令和5年度の実績値は、0.02点であり、基準値から上昇したものの、目標値の達成には至らなかった。 市民満足度調査の内容も踏まえて策定した第6次江南市総合計画後期基本計画に基づき、市民ニーズに沿って今後優先的に取り組む施策を検討する必要がある。
実績値	0.00		0.02	
達成率（達成状況）		点	20.0	

個別目標 ①	限られた経営資源で政策を実現し、市民ニーズに応えている							
指標名	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率							
	（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	－		101.7	103.2	94.1	97.5	97.0	104.8
達成率（達成状況）		%	101.7	103.2	94.1	97.5	97.0	104.8

指標名	政策会議に付議した案件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	33		53	75	87	67	59	69
達成率（達成状況）		%	160.6 ☀	227.3 ☀	263.6 ☀	203.0 ☀	178.8 ☀	209.1 ☀

個別目標 ②　職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力を持った職員が育っている

指標名	政策形成とマネジメント能力を持った職員を育てる研修などを受講し、有益と感じる職員の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	94.0	94.5	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値	93.8		94.0	91.5	96.4	90.7	93.5	91.0
達成率（達成状況）		%	100.0 ☀	96.8 ☀	101.5 ☀	95.5 ☀	98.4 ☀	95.8 ☀

指標名	現在の職務に適正があると人事評価された職員の割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	96.0	96.0	97.0	97.0	98.0	99.0
実績値	95.1		96.3	95.0	95.2	96.3	97.6	96.7
達成率（達成状況）		%	100.3 ☀	99.0 ☀	98.1 ☀	99.3 ☀	99.6 ☀	97.7 ☀

V　柱3　行政分野

市民相談・窓口サービスの充実 ー 市民生活 ー

R6担当部・課
企画部
市民サービス課

全体目標　市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている

指標名	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	29.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から2.5%増加し24.6%となった。 コンビニ交付やスマート申請サービスを導入するとともに転出入ワンストップサービスや戸籍証明書の広域交付を開始したほか、おくやみコーナーを設置するなど、様々な方法で行政サービスの利便性向上に努めてきた結果と考えられる。
実績値	22.1		24.6	
達成率（達成状況）		%	84.8 ☁	

個別目標 ①	戸籍などが正確に記録･管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている							
指標名	正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	94.5	94.5	94.5	94.6	94.7	95.0
実績値	94.4		92.3	89.9	92.9	93.2	92.4	94.6
達成率 （達成状況）		%	97.7 ☀	95.1 ☀	98.3 ☀	98.5 ☀	97.6 ☀	99.6 ☀

個別目標 ②	専門家による相談を受け、市民が安心して暮らしている							
指標名	消費生活講座の受講者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	495	495	495	495	495	500
実績値	491		1,482	528	332	873	437	1,893
達成率 （達成状況）		%	299.4 ☀	106.7 ☀	67.1 🌦	176.4 ☀	88.3 ☁	378.6 ☀
指標名	消費生活相談の件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	450	300	300	300	300	300
実績値	119		619	577	625	581	552	484
達成率 （達成状況）		%	137.6 ☀	192.3 ☀	208.3 ☀	193.7 ☀	184.0 ☀	161.3 ☀
指標名	弁護士などの専門家による相談の件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	650	650	650	650	650	660
実績値	644		498	495	426	552	562	612
達成率 （達成状況）		%	76.6 ☁	76.2 ☁	65.5 🌦	84.9 ☁	86.5 ☁	92.7 ☀

V	行政分野	R6担当部・課
柱4	**男女共同参画社会の形成** **－ 男女共同参画 －**	企画部 市民サービス課

全体目標 男女が意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会が形成されている

指標名	男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野（家庭、地域、職場）で活躍できていると感じる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	35.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から10.1%減少し21.3%となった。 地域、職場などの役員数、賃金などの男女格差に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により全体的な活動機会が少なかったことも要因と考えられる。
実績値	31.4		21.3	
達成率（達成状況）		%	60.9	

個別目標 ① 男女共同参画の理念が広く浸透し、男女が社会参画において対等なパートナーとして、ともにその責任を分かち合っている

指標名	男女共同参画に関するセミナー等への参加割合							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	94.1	94.2	94.4	94.6	94.6	95.0
実績値	93.9		66.7	80.0	23.3	85.0	55.6	41.1
達成率（達成状況）		%	70.9	84.9	24.7	89.9	58.8	43.3

指標名	審議会等における女性委員の登用率							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	26.5	29.0	32.0	33.0	33.0	35.0
実績値	22.4		24.8	23.4	23.0	26.0	26.7	28.2
達成率（達成状況）		%	93.6	80.7	71.9	78.8	80.9	80.6

V	行政分野	R6担当部・課
柱5	**計画的な行政経営の推進** **－ 行政経営 －**	総務部 財政課

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	効率的な行財政運営を行っていると感じている市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	19.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から4.5%減少し9.1%となった。限られた経営資源で満足度を高めるには、刻々と変化する市民ニーズを的確に捉え、ニーズが少ない事業は廃止・縮小し、ニーズが高い事業に対して集中的に経営資源を投入する「選択と集中」の経営方針をより一層、徹底していく必要がある。
実績値	13.6		9.1	
達成率（達成状況）		%	47.9	

個別目標 ①	行政改革により、行政の簡素化・効率化が図られている							
指標名	行政改革大綱の進捗状況							
	(基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	2.2	22.9	62.5	60.4	78.0	41.2
実績値	－		2.2	22.9	34.0	36.0	38.0	43.8
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	54.4 🌂	59.6 🌂	48.7 🌂	106.3 ☀

個別目標 ②	計画的で健全な財政運営が行われている							
指標名	経常収支比率（単年度）							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	87.5	87.0	86.5	86.0	85.0	85.0
実績値	88.2		86.5	87.2	90.1	82.5	85.3	93.8
達成率 （達成状況）		%	101.2 ☀	99.8 ☀	96.0 ☀	104.2 ☀	99.6 ☀	90.6 ☀
指標名	実質公債費比率（前3年度平均）							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	4.3	4.3	4.3	4.8	5.8	5.8
実績値	4.3		4.2	3.9	3.6	3.2	3.1	3.2
達成率 （達成状況）		%	102.4 ☀	110.3 ☀	119.4 ☀	150.0 ☀	187.1 ☀	181.2 ☀
指標名	財政力指数（単年度）							
	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	—	0.82	0.82	0.82	0.82	0.83	0.83
実績値	0.82		0.81	0.80	0.81	0.75	0.74	0.76
達成率 （達成状況）		%	98.8 ☀	97.6 ☀	98.8 ☀	91.5 ☀	89.2 ☁	91.6 ☀

個別目標 ③	公共施設の最適な利用及び配置が図られている							
指標名	公共建築物の更新費用の財源不足額が解消された割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	0.7		1.3	1.5	2.3	3.5	3.7	8.8
達成率 （達成状況）		%	185.7 ☀	214.3 ☀	328.6 ☀	500.0 ☀	528.6 ☀	1257.1 ☀

V	行政分野	R6担当部・課
柱6	公平かつ適正な課税・収納 －　課税・収納　－	総務部 税務課 収納課

全体目標　市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

指標名	税が公平かつ適正に課税・収納されていると感じている市民の割合			
	H28（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	20.0	税制改正について広報こうなんやホームページによる周知、コンビニやスマートフォン決済アプリでの収納ができる環境整備や口座振替の加入促進、課税客体の適正な把握による課税誤りの更正や更正すべき未申告対象者の減少など、公平かつ適正な課税・収納に努めたものの、市民満足度調査の達成率は伸び悩んでいる。
実績値	10.0		10.1	
達成率（達成状況）		%	50.5	

個別目標 ①　市民は、公平かつ適正に課税されていると感じている

指標名	課税誤りによる更正・決定の件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	↓	↓	↓	↓	↓	↓
実績値	6		10	8	10	6	5	6
達成率（達成状況）		%	60.0	75.0	60.0	100.0	120.0	100.0

指標名	未申告者などに対する更正・決定の件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	204	207	210	213	216	220
実績値	201		147	159	137	187	144	111
達成率（達成状況）		%	72.1	76.8	65.2	87.8	66.7	50.5

個別目標 ②　公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

指標名	収納率（市税現年度課税分）							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	98.9		99.1	99.1	99.2	99.3	99.3	99.3
達成率（達成状況）		%	100.2	100.2	100.3	100.4	100.4	100.4

指標名	口座振替加入率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0
実績値	37.9		37.6	37.3	37.3	37.4	37.1	36.6
達成率 （達成状況）		%	98.9 ☀	98.2 ☀	98.2 ☀	98.4 ☀	97.6 ☀	96.3 ☀

V	行政分野	R6担当部・課
柱7	適正かつ効率的な事務による開かれた行政 － 行政事務管理 －	企画部 企画課 総務部 財政課 総務課 会計課 監査委員事務局

全体目標 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は行政を信頼している

指標名	行政の事務が、適正かつ効率的に行われていると感じる市民の割合			
	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	30.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から1.1%増加し26.8%となった。 行政運営にあたっては、効率的な取組みが求められており重要度が高まっていることから、より一層適正かつ効率的に行政事務を遂行していく必要がある。
実績値	25.7		26.8	
達成率 （達成状況）		%	89.3 ☁	

個別目標 ① 確実な個人情報保護と、情報公開が適正に実施され、業務が遅延することなく透明性の高い行政が行われている

指標名	情報公開制度に基づく審査請求件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	0	0	0	0	0	0
実績値	0		2	0	0	0	2	0
達成率 （達成状況）		%	0.0 ☂	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	0.0 ☂	100.0 ☀

指標名	個人情報の漏洩件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	0	0	0	0	0	0
実績値	0		0	0	0	0	0	0
達成率 （達成状況）		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

指標名	ネットワーク停止時間							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	時間	0	0	0	0	0	0
実績値	0		0	0	0	0	0	0
達成率 (達成状況)		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

個別目標 ②　資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

指標名	普通財産に占める未利用地の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↓	↓	↓	↓	↓	↓
実績値	6.1		37.8	38.2	27.4	23.7	23.7	5.5
達成率 (達成状況)		%	16.1 🌂	16.0 🌂	22.3 🌂	25.7 🌂	25.7 🌂	110.9 ☀

指標名	歳計現金の有利子運用の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	6.1		13.8	12.6	16.3	12.8	7.1	8.7
達成率 (達成状況)		%	226.2 ☀	206.6 ☀	267.2 ☀	209.8 ☀	116.4 ☀	142.6 ☀

指標名	庁舎設備の老朽化等に起因する不具合の件数　＊							
	R2 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	－	－	－	0	0	0
実績値	0		－	－	－	0	0	0
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

個別目標 ③　各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

指標名	市長・市議会議員選挙投票率【市長】							
	H27 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	55.0	－	－	－	57.0
実績値	53.6		－	－	－	－	－	46.7
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	81.9 ☁

指標名	市長・市議会議員選挙投票率							
	H27（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	55.0	－	－	－	57.0
実績値	53.6		－	45.9	－	－	－	46.7
達成率（達成状況）		%	－	83.5	－	－	－	81.9

指標名	決算審査における意見等指摘件数							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	↓	↓	↓	↓	↓	↓
実績値	8		8	6	6	9	7	7
達成率（達成状況）		%	100.0	133.3	133.3	88.9	114.3	114.3

V	行政分野	R6担当部・課
柱8	より開かれた適切な議会運営への支援 －　議会運営への支援　－	議会事務局 議事課

全体目標　より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会のようすが、広報やホームページなどにより、広く情報発信されていると感じる市民の割合			
	H29（基準値）	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	57.0	令和5年度と平成28年度の調査結果を比較すると、肯定的な回答から中立の回答へ推移し、その結果として、令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値49.0%から18.1%減少し30.9%となった。 個別目標の数値は良好であることから、コロナ禍による傍聴者数の減少などが影響していると考えられる。
実績値	49.0		30.9	
達成率（達成状況）		%	54.2	

個別目標 ①　より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会ホームページアクセス件数　＊							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	26,830	26,830	26,900	26,900	26,900	26,900
実績値	26,814		48,819	64,732	18,597	22,004	26,619	24,960
達成率（達成状況）		%	182.0	241.3	69.1	81.8	99.0	92.8

指標名	議会映像アクセス件数　＊							
	H28（基準値）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	11,400	11,400	11,450	11,450	11,450	11,450
実績値	11,394		12,495	48,877	27,920	19,700	26,006	24,063
達成率（達成状況）		%	109.6	428.7	243.8	172.1	227.1	210.2